

令和6年第1回太地町議会定例会会議録

(第2日)

○開会期日 令和6年3月13日午前9時00分

○会議の場所 太地町議会議場

○当日の議員の出欠は次のとおり

出席議員（10名）

1番 漁野尚登君	2番 森岡茂夫君
3番 海野好詔君	5番 久原拓美君
6番 塩崎伸一君	7番 三原勝利君
8番 筋師光博君	9番 花村計君
10番 水谷育生君	11番 福田忠由君

欠席議員（0名）

なし

○出席した事務職員は次のとおり

事務局長 漁野チエミ君 書記 松本悟君

○地方自治法第121条による出席者は次のとおり

町長 三軒一高君	副町長 漁野洋伸君
会計管理者 執行貴弘君	総括課長 久保亨一君
総務課長 由谷陽久君	総務課副課長 森本直樹君
総務課主査 和田正希君	住民福祉課長 下津公広君
住民福祉課企画員 稲藪江美君	住民福祉課副課長 榊田将樹君
産業建設課長 山下真一君	産業建設課副課長 脊古景君
産業建設課副主幹 奥田耕司君	産業建設課主査 井上正哉君
くじらの博物館長 稲森大樹君	くじらの博物館副館長 中江環君
教育長 宇佐川彰男君	教育次長 漁野文俊君
教育委員会主幹 櫻井敬人君	

○本日の会議に付した事件

- 日程第 2 5 議案第 2 4 号 令和 6 年度太地町一般会計予算
- 日程第 2 6 議案第 2 5 号 令和 6 年度特別会計太地町国民健康保険事業予算
- 日程第 2 7 議案第 2 6 号 令和 6 年度特別会計太地町介護保険事業予算
- 日程第 2 8 議案第 2 7 号 令和 6 年度特別会計太地町後期高齢者医療事業予算
- 日程第 2 9 議案第 2 8 号 令和 6 年度特別会計太地町くじらの博物館事業予算
- 日程第 3 0 議案第 2 9 号 令和 6 年度企業会計太地町水道事業会計予算
- 日程第 3 1 議案第 3 0 号 令和 6 年度企業会計太地町公共下水道事業会計予算
- 日程第 3 2 発議第 1 号 議会改革特別委員会の設置

△開 会 午前9時00分

(5番 久原拓美君 未着席)

○議長（福田忠由君）

おはようございます。ただいまから再開いたします。ただいまの出席議員は9名であります。定足数に達していますので、本日の会議を開きます。昨日に引き続き、議案の審議を続行いたします。歳入の質疑の中で、町長より答弁漏れの申出があります。答弁願います。執行会計管理者。

○会計管理者（執行貴弘君）

森岡議員からご質問いただきました、紀の国森づくり税が続くのかどうかというところのご質問に対しまして、はっきり何年度までということをお答えしておりませんでしたのでお答えさせていただきます。今のところ、令和8年度まで続くことが決まっております。後、1点修正をさせていただきたいんですが、漁野議員からご質問いただきました、災害復旧事業債、こちらの交付税算入率が何%かというところ、私100%とお答えしたんですが、私ごめんなさい覚え間違えて100%は充当できる比率であって、実際、交付税に算入できる率というのは47.5%になります。申し訳ありませんでした。以上です。

○議長（福田忠由君）

歳出について質疑を行います。議会費について行います。41ページから42ページです。質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（福田忠由君）

議会費について終わります。総務費について行います。43ページから68ページです。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

総務費、ちょっと項目多くて大変申し訳ないです。50ページの工事請負費、小東駐車場整備工事500万円のこれはどういう工事なのか。それから、同じ工事請負費の家屋解体撤去工事1,000万円、これの棟数ですね。それから、同じところの工事請負費で本庁舎階段の昇降機、これが椅子式なのか、車椅子式なのか、どういうタイプなのか教えてください。それから、50ページ、委託料、アンケート調査業務委託料100万円、これの目的を教えてください。同じ50ページの委託料、駅前周辺整備工事2,700万円の目的、どういう作業をやるのか教えてください。それから同じ50ページの委託料で、土地の購入費449万2,000円の目的を教えてください。それから、53ページの需用費、備蓄品購入費310万7,000円の説明をお願いします。それから、54ページの委託料、平見台防災集団移転促進事業計画3,100万円、これがどういう作業を行うのか教えてください。それ

から、54ページの工事請負費のところ、夏山防災備蓄倉庫設置工事115万6,000円、これ物置のようなタイプなのか、それとも今年の1月に総務課の方と私が見に行った美浜町のような非常にしっかりした備蓄庫、どういうタイプかちょっと教えてください。それから、54ページの工事請負費、常渡地区の避難路整備工事542万3,000円、この場所を教えてください。同じくその下の美代取地区避難路整備工事350万円の場所を教えてください。それから、55ページの負担金補助及び交付金の感震ブレイカーの100万円、これ相当機器の値段が上がってるんだそうですけど、この100万円というのは、件数を増やしたのか、あるいは補助金額を増やしたのか教えてください。それから、63ページの委託料で、二輪車等の電子化に係る団体連動試験支援業務22万円というの、これがどういうものか教えてください。以上です。

○議長（福田忠由君）

和田総務課主査。

○総務課主査（和田正希君）

私のほうからは、50ページ、目でいう企画費の中の12節、委託料、14節、工事請負費、16節の公有財産購入費についてご説明のほういたします。12節、森岡議員様から今ご質問いただいたアンケート調査業務委託料につきましては、令和7年度に第6次となる太地町長期総合計画を策定する必要がございます。こちら策定前に住民向けのアンケート調査を行うものであります。続きまして、14節の駅前周辺整備工事ですが、こちらにつきましては、現在の駅前無料駐車場につきまして、一体的に利用できるよう、舗装、区画線、フェンス、車止め、擁壁工事等を実施するものであります。次に、公有財産購入費の土地購入費ですが、こちらにつきましては、令和5年度、引き続き駅前広場整備の一環としまして、小字でいうとオソ作であったりとか、日與畑の土地を購入する費用を計上してございます。位置につきましては、議案第24号、資料の位置図となっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

執行会計管理者。

○会計管理者（執行貴弘君）

私のほうから50ページの工事請負費、小東地区整備工事について、こちら、旧児玉邸跡地なんですけれど、令和5年度で擁壁工事、奥の擁壁工事を県のほうがしていただきまして、その残りを今年また県がしていただく予定となっております。それが終わった後に舗装等の整備をしていきたいと考えております。続いて、その下の家屋等解体撤去工事なんです、数が5棟を予定しております。私のほうからちょっと飛びまして、63ページ、二輪車等の電子化に係る団体連動試験支援業務、こちらなんです、軽自動車税の課税客体の車両の異動をですね、こちらを市町村間で、団体間で連動できるように将来的に進めるということで、

今、全国的に整備が進んでるんですが、その本格稼働に向けた前のテストをするための業務になります。以上です。

○議長（福田忠由君）

由谷総務課長。

○総務課長（由谷陽久君）

私のほうからは、50ページの14節、工事請負費の本庁舎階段昇降機設置工事ですが、これにつきましては階段の端側に立ち上げレールを設置しまして、そこ、椅子に座ったままの状態でするので、椅子式でございます。以上です。

○議長（福田忠由君）

森本総務課副課長。

○総務課副課長（森本直樹君）

私のほうからは、53ページをお願いします。備蓄品の件です。内容なんですけども、こちら非常食、こちらアルファ米と後パンですね。その下の保存水はペットボトルの水、それと緊急簡易トイレセット、こちらは、216回分ですね。トイレテント、こちらは10張り、簡易便器が5台、多目的簡易ベッドが50台、寝袋が30人分を予定しております。54ページをお願いします。委託料の平見台の設計の話なんですけども、こちらどういう作業かというところで、この業務につきましては、宅地造成に必要となります地形測量であったり、地質調査、道路や排水などの基本設計業務を委託するものです。その下、14節、工事請負費、一番上のやつ、夏山防災備蓄倉庫、こちらどういうタイプかということなんですけども、ヨド物置のようなタイプを想定しております。その下の常渡地区の工事の場所なんですけども、場所としましては、ペンションゆうさん、向かって右側の山というんですかね。ちょっと急傾斜ずっとしてきてるんですけども、その急傾斜終わって、その隣辺りですね。そこを想定しております。その下、美代取地区の避難路整備工事、こちらの場所につきましては、役場出まして下里水道さんあって、その突き抜けてどん突きに階段つけてるとこあるんですよ。下里水道裏で、忠魂碑のほうに登る道がありますよね。その道へ上がる階段が今ありまして、あるんですけどもその階段のちょっと下というんですかね、麓がちょっと足元が悪い状態というところで、そこを整備させていただきたいということです。55ページをお願いします。18節の負担金のところで、感震ブレーカーのお話なんですけども、こちら予算額としまして100万円で前年度と同額となっております。特段、件数を増やしたとか、補助金の額を見直したとかということは、ちょっと今回はしていません。以上です。

○議長（福田忠由君）

答弁漏れないですか。ほかに質疑ありますか。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

53ページの防災の備蓄品なんですが、昨年の台風7号のときに、せっかく購入したダンボールベッドが使われなかったということで非常に仕組みが難しいということだったんですけど、私も拝見したら本当に難しいなと思ったんですけど、簡易型のダンボールベッドは今回は買う予定はないのでしょうか。

○議長（福田忠由君）

森本総務課副課長。

○総務課副課長（森本直樹君）

今回はちょっとそういうタイプではなくて、昨年度から順次購入している、ちょっとキャンプとかで使われるような折り畳み式のベッドがありまして、それであれば、なんでしょうね、ダンボールベッドやったらフラット、寝る分にはいいんですけども、昼間の生活のときとかちょっと背もたれを起こして過ごしたりとかいう場面もあると思います。ですので、そういうタイプのベッドを想定しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

まず、43ページなんですけれども、報酬の中で電話及び清掃係1人分というのが計上されてます。これ、私も職員のとときに、この電話機を誰でも取れるような、各課で取れて、もう電話交換手が要らないようなためにということで電話機を変えた記憶があります。だから今、対応してるのは恐らく電話が鳴ったときに各課で取れる状態であれば取ってるはずなんですよね。そこら辺で、なぜ電話及び清掃係1名分がいるのかということをお聞きしたいと思います。そして、2節の給料、令和5年度で恐らく11人分じゃなかったのかなと思うんです。これ、科目の配置替えとかいろいろ給与体系によって変わるのかどうかは分かりませんが、13人分になってるのはなぜなのかということをお聞きしたいと思います。そして、44ページの7の報償費、外部監査謝金、去年も聞いたと思うんですけども、果たしてこれが必要なのかどうかということをもう一度説明してください。それから、先ほど説明があった50ページ、工事請負費、駅前周辺整備工事2、700万円、恐らく地方債の2、720万円が、これ過疎債に該当するのかわかりづらいんですけども、過疎債を借りて周辺整備するのかなというように考えてます。この駅前周辺整備というのが、毎年これから出てくると思うんですけども、総合的な費用というのは大体幾らぐらいを考えているのか。また、補助金等が確実にあるのかということが分かれば答えていただきたいと思います。それと、先ほども説明がありました54ページ、平見台防災集団移転促進事業計画ですか、これが3、100万円という大きな金額ですけども、どこをどうやって埋め立てていくのか。そして、どこの人を集団移転させるのか、多分ここら辺の地元の、この下

という言葉悪いんですけども、旧地区ですね。そこら辺の人を想定しているのか、それも説明をしていただきたいと思います。56ページ、これ漁野議員から質問があるのかどうかよく分かりませんが、先に質問させていただきます。12の委託料、太地駅送迎サービス委託料、どのようなときにされるのかちょっと詳細を答えて、新規事業ですから、答えれば答えていただきたいと思いますというように思います。そして66ページの今回、町長選挙があるんですけども、そのポスター掲示に、ポスターを貼ってると思うんですけども、新宮市なんかは、そのポスターにカバーをもう貼って、もうポスターを取りに行かなくてもいいように、いっぺんにぱっとはがせるような形のものがあると聞いてるんですけども、今後、地元の選挙もありますし、そういう利便性ができるのであれば、そこら辺も考えていただきたいと思います。と私たちにも関連することで申し訳ないんですけども、そういうようなものがあって、利用できるのであればしていただきたいと思いますと思うんですけども、以上です。

○議長（福田忠由君）

森本総務課副課長。

○総務課副課長（森本直樹君）

私のほうから43ページをお願いします。電話交換といいますか、ここの会計年度の方のなぜ必要なのかということなんですけども、電話機能としてはそういう各課で取れるというのは多分あると思うんですけど、ちょっと今うちの運用としましては、一旦電話交換員で、要は代表、総務課の代表で一旦電話を受けて、そこから各課につないでるというちょっと今、運用させてもうてます。ですので、この方を1名置いて、別に電話だけじゃないんですけども、電話もしてもらいながら清掃もしてもらいながら、ほかちょっと簡単な事務をしてもらいながら、ちょっといろいろやってもらってるんですけども、そういうことでちょっと1名配置をさせていただいております。その下、給料の13人分なんですけども、一旦ここは新規採用職員想定してまして、一旦総務課のほうに計上してますので、また異動が決まったら補正します。次の44ページ、外部監査の件なんですけども、こちら外部監査と書いてるんですが、準じた形でやらせてもらってます。やっぱり外部の目も必要じゃないかということで、今回もちょっと上げさせてもらってます。ページ飛びまして54ページをお願いします。委託料、平見台の話です。どこをどうやって埋めるのかと。まず場所なんですけども、田ノ尻谷と申し上げればよろしいでしょうか。ここのところ。

○議長（福田忠由君）

休憩します。

休憩 午前9時22分

再開 午前9時23分

○議長（福田忠由君）

再開します。

○総務課副課長（森本直樹君）

すいません、場所は田ノ尻谷ということでお願いします。どういう使い方というのは、どういう、どこの地区の人を移転させるのかというお話だったと思うんですけども、一応、想定といたしますか、復興計画を前提にちょっと言えば、この浸水区域の方々の一つの想定ですけども、事前の移転先であったりとか、そういう想定はあります。ただ、いろんな可能性があると思うんです。その復興計画もこの辺が浸水地域全体が本当に壊滅的になった場合であれば、もう全体が流されて壊滅的な状態になるパターンをで言えば、この辺りの方のためのまずは場所なのかなと。あっちの大東とか小東とか、あちはまた裏の山を切って造成する、あるいは後ろの山を切って造成するとか、そういう絵は描いています。ですので、絶対にここの人のための分やとかいう話になると、そこはちょっと想定の話なんで、ちょっと言い難いところあるんですけども、一つの青写真としてはそういう想定を持っております。最後66ページ、ポスター掲示場の話につきましては、ちょっと提案いただきました、ちょっと検討させてください。以上です。

○議長（福田忠由君）

和田総務課主査。

○総務課主査（和田正希君）

50ページの企画費、工事請負費の2,700万円の駅前周辺整備工事、こちらにつきましてご説明のほういたします。先ほど海野議員さんから過疎債のほうを使うのかというご質問ありました。こちらにつきましては、過疎債を起債する予定でございます。39ページ、歳入のところですけども、こちら町債、2目の過疎対策事業債、節でいうと過疎対策事業債、1節ですけども、こちら駅前広場整備事業2,720万円のほうを計上しております。残り20万円ですが、先ほど、もう一度戻りまして50ページの企画費の12節、委託料の中で、測量設計委託料20万円計上してございます。こちら20万円と工事請負費2,700万円、合わせまして2,720万円となっております。続きまして、補助金等が駅前広場の整備自体ですね、全体であるのかというご質問なんですけども、こちらにつきまして、今、国土交通省であったりとか、和歌山県さんと一緒に協議会等を立ち上げまして、これから駅前広場の整備をする中で、どのような補助金があるかというのもお聞きしておるところでございます。実際、駅前広場整備、今回の駐車場の整備もそうですし、公園の整備、また、対岸に自動運転を走行させたいという多岐にわたるものでございます。その中で公園であれば、国土交通省の都市局系の補助金であったり、また、道路であったら道路局の補助金ということで多岐にわたる補助金がございます。その中でも、やはりその補助金を使えるんですけども、

裏の部分のその補助裏、起債が効くのかとか、また条件として、交通系の計画、立地適正化計画が策定必要とか、そういう様々な条件があるので、太地町にとって事務負担も限られた人数の中でやってございますので、できる限り効率的にできるように、その都度、その状況に応じて、そのときに一番お得になるようなという言い方悪いんですけども、状況に応じて年次を追って進めていきたいと考えております。続きまして、56ページの12節、委託料、太地駅送迎サービスの50万円のこちらについてご説明いたします。新規事業ということで、こちらにつきましては、夜間ですね、大阪方面から太地に帰ってくる際、今想定ですけども、こちらにつきましては、特急くろしおを利用される方が、今21時16分太地着、23時23分の計この2便ですね。こちら特急利用されて帰ってきた後、じゅんかんバス、送迎がないような状況でございます。その人たちにつきましては送迎をタクシーにて行うというものです。こちらにつきましては、利用する前日までに委託を予定しているタクシー会社に事前に利用者のほうからご連絡をいただく予定でございます。それで何時何分の電車で太地に帰りますのでお迎えをお願いしますと依頼いただくと、もうその時間にタクシー会社が駅前でお待ちしておると、そのまま自宅に帰って完了という形で考えてございます。こちらにつきましては、事前に利用方法等ですね、広報で周知のほうをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。以上です。

○議長（福田忠由君）

答弁漏れないですか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

答弁漏れ、全体、駅前の全体計画のお金が大体分かってるのか、想定してるのか。

○議長（福田忠由君）

和田総務課主査。

○総務課主査（和田正希君）

現在のところ、全体事業費確定今のところ出ておりません。以上です。

○議長（福田忠由君）

3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

電話交換なんですけれども、雇用、町の雇用ということを考えれば致し方ないのかなとは思いますが、近隣市町村見ても電話、近隣市町村の役場に電話しても、やはり職員が何々課の誰々ですということで受け付けております。だから、そこら辺ですね、やはり雇用も大事なんですけれども、人件費が増えていくというのは大変なことだと思うので、そこら辺も今後考えていただければなというように思います。そして、外部監査委託料、44ページですね。これはきちんともうまちの監査委員、また議会の監査委員があるので、外部の

監査委員に見てもらおうということは、じゃあまちの監査委員の監査が果たしてちゃんとやってんのかというように私は受けとめるんです。だから、そこら辺、本当に金額的には微々たるものですけども、監査委員に対しても失礼じゃないかなというふうに思いますので、そこら辺もう一度、今後検討してみてください。そして50ページの駅前周辺整備ですね。これも分かるんですけども、和田主査のほうから説明があって、できるだけ住民の負担にならないような形での考え方でやっていただきたいなというふうに思います。そして54ページの防災、平見台防災計画ですか、これも相当お金がかかるんじゃないかなというふうに思います。また、年数もかかるのかなというふうな気がします。これも、補助金、国土強靱化とかですね、そういう補助金があるのかですね、そこら辺も分かっていたらお聞きしたいと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

三軒町長。

○町長（三軒一高君）

公認会計士の件についてですね、私は就任以来。

○議長（福田忠由君）

休憩します。

休憩 午前9時32分

再開 午前9時36分

○議長（福田忠由君）

再開します。

○議長（福田忠由君）

森本総務課副課長。

○総務課副課長（森本直樹君）

電話交換の件ですけども、一応ここら辺りの人件費の話もありましたけども、適正な配置にちょっと努めていきたいと思います。平見台の話ですけども、補助金ですね、一応今の作業というのが、先ほどいろいろ僕言ったんですけどもごちゃごちゃと、すいません。一応、準備段階といいますか、基本設計といいますか、本格的な設計じゃなくて、基本設計の段階で、あそこを埋めるのに、本当に埋めて造成できるのかとか、そういう、まずそもそもできるのかというところからの作業でして、今これの補助金探してた中で、やっぱり今あったのが、県のパワーアップ補助金、今回それを充ててます。その後、実際今回基本設計やって、いろいろ形が見えてきたら、この補助金取りにいけるなとか、そういう話になるのかなというふうに思ってます。以上です。

○議長（福田忠由君）

三軒町長。

○町長（三軒一高君）

外部監査については、二重、三重のチェックをかけたいんで、何とぞですね認めていただきたいと思います。ただ、議会が決めることなんで、もう少しいろんな考えがあったら提案していただければ、そのように議会が言うように執り行いたいと思ってますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（福田忠由君）

和田総務課主査。

○総務課主査（和田正希君）

駅前広場の周辺整備につきまして、町民負担ができる限り少なくなるように、こちらとして努力していきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

電話交換手の話なんですけども、僕はやっぱり電話交換手は置いたほうがええと思ひたるんで、松井さんですか、仕事中に個人の携帯に電話をかけるのはちょっと失礼かなと思ひて僕役場へお電話かけるんですけども、やっぱり松井さんが出るとね、テキパキするんですよ。誰々お願ひしますと言ったら、今日は課長は出張してますとか、そういうのもすぐ言うてくれるんで、やっぱり交換手というのは必要じゃないかなと。ほかの職員が出ると、何分も待たされたこと、切ってしまったこともあるしね。例えば、僕は交換手は必要かなと思ひてます。44ページの旅費、これ海外があればお願ひします。それから、45ページの12節の一番下、庁舎電話機保守委託料、17万6,000円、この46ページの13節の最後ですか、庁舎電話機リース料となってあるんですけど、これの説明をお願ひします。それから18節のインターネット購買負担金、12節のホームページの運用保守委託料、これどこへ委託してあるのか、それと配布委託料ですね。これもどこへ委託してあるのかですね。それと、49ページの12節の真ん中ほどの町有林管理委託料、それからその下のほうの洗車委託料、50ページの工事請負費、小東駐車場整備工事、これ町民からもうここ駐車場にしやんらしいねとか言われて僕もびっくりしたんですけども、駐車場整備工事はいつごろから着手する予定ですか。それから、一番下の全自動草刈り機、51ページの18節の広域市町村圏事務組合負担金、これが20万4,000円の増ということで説明をお願ひします。それから、一番下の紀勢本線活性化促進協議会負担金、これも15万円の増ということで説明をお願ひします。それから、その下の消耗品費、これも50万円の増ということで説明を

お願いします。それから、その下のほうの12節の機器更改委託料、236万5,000円、それから一番下のLGWANのインターネットライセンス料、それからこれ、52ページの一番上のサイボウズライセンス料というんですか。その下の18節の自治体セキュリティ対策協議会、70万円の増ということで説明をお願いします。それから、53ページの備蓄品、これ要望で何食分とか何件分とか入れてくれたらもう質問しなくていいんでね、これ入れといてくれます、来年からでもいいんで。それから、53ページの下の方の太地駅清掃業手数料、それから小型無人機保険料、54ページの委託料ですね。太地駅エレベーター、これ利用状況もお願いします、令和5年度の。それから、去年、令和5年に平見地区高台造成計画策定業務委託料、4,919万円の計上があったんですけども、これ策定ができてたら配付してほしいんですけども。それから、去年もこれ津波想定確認業務委託料、788万円が計上されてたんで、この2冊について、できてるはずだと思うんで配付してもらえませんか。それから、一番下の防災複合施設改修工事監理設計委託料、55ページの防災複合施設改修工事についての説明をお願いします。それから、18節の県総合防災情報システム市町村負担金、これが458万2,000円の減ということで、これも説明をお願いします。それから、その下の防災士資格取得試験受験料ですか、これも何名分か人数入れてくれたら質問しなくていいんで、今後そういうのを配慮してほしいと思います。それから、自動運転の休日勤務報酬というのがあるんですけども、自動運転休日ないですよ。365日動いてるんですよ、あれ。もう太地駅送迎サービスはもういいです。それから、58ページの委託料、森浦湾施設管理委託料、これ聞いたと思うんですけど前に、ちょっと忘れたものでお願いします。それから、59ページのふるさと納税事業委託料、これ37%が太地町に入ることなんで、2,311万4,000円が太地町に入ると理解しておいてよろしいですか。それから、くじらの郵便ポスト製作委託料、45万円、これ今、四つついとるんですけど、太地駅が座頭で、役場がシャチで、道の駅と博物館は何やったですか、ちょっと教えてください。17節の備品購入費の移動式バックネットというのがあるんで、すいませんけど。それから、60ページの13節の荷物運搬料ですか。それから久しぶりにブルームが出てきたんですけども、何名分なのか、負担金18節の。以上です。

○議長（福田忠由君）

和田総務課主査。

○総務課主査（和田正希君）

私のほうからは、50ページ企画費、17節、備品購入費の全自動草刈り機についてご説明いたします。こちらにつきましては、国際鯨類施設にございます芝生ですね、こちら芝刈りロボット使いたいと考えておまして、そのための費用となつてございます。続きまして51ページの18節の負担金のところで、広域圏の負担金増の理由でした。こちらにつきま

しては、広域圏のほうで会計年度任用職員1名を雇用したいということで、そのため負担金が増額しているものでございます。一番下の紀勢本線活性化促進協議会負担金の増額理由ですけれども、こちらにつきましては、今、新宮から白浜の間、こちらの紀勢線の中で特急の乗車率等が非常に低いということで、JRさんもかなり赤字を抱えているということでございます。こちらにつきましては、白浜町以南の自治体が紀勢本線活性化促進協議会の白浜新宮間区間部会というものを設置してございまして、ここの中で各種事業、令和6年度に実施しようということで負担金のほうを増額となっております。続きまして、ちょっと飛ぶんですけどすいません、59ページ、くじらの郵便ポストの委託料のところ、道の駅と博物館がどの種類の鯨類かというご質問ありましたけれども、道の駅につきましては、バンドウイルカ、博物館につきましてはコビレゴンドウでございます。以上です。

○議長（福田忠由君）

森本総務課副課長。

○総務課副課長（森本直樹君）

私のほうからは44ページをお願いします。8節の旅費、こちら外国の予定はありません。続いて、45ページ、12節、委託料、庁舎電話機保守委託料、こちら次のページの庁舎電話機リース料とも絡むんですけども、現在、庁舎で使わしてもうてる電話機、かなり老朽化も進んでおりまして、既に保守も切れてるということで、故障したときにちょっと支障が出るということで、今回、入替えを検討しております。それはリースでやらせていただくということで、リース料の計上と、後、それに対する保守というところで計上となっております。その下、18節負担金の上から四つ目、インターネット購買負担金、こちら最近ちょっと我々も事務用品をインターネットを通じて買う機会があります。その会費ということでお願いします。ちょっと飛びましてすいません、53ページお願いします。需用費の備蓄品のところで、何食分かというのを入れるように今後していきたいと思っております。下にいきまして11節の役務費、太地駅の清掃手数料、こちらの専門業者のほうに、天井とか高いところのほこり取りであったり、クモの巣取りであったり、窓ガラスの清掃、床清掃、この辺り専門的な業者でちょっとお願いしたいということで計上です。その下の小型無人機の保険料、こちらドローンの保険となっております。次のページ、54ページをお願いします。平見台の設計のものですね、こちらはまだ完成していませんので、また、これにつきましてはまた出来次第お示ししていきたいと思っております。それと、津波シミュレーションのほうですけれどもこちらまもなく、今年度事業でやってる部分なんで、まもなくできてきます。今ちょっとまだ手元にないもので、こちらにつきましても、お示しできる状態になればお配りしたいと思います。55ページをお願いします。一番上の防災複合施設改修工事、こちらにつきましては、小東と森浦の防災複合施設、こちら手すりつけてるんですけども、こちらちょっと特に高齢

者の方といいますか、ちょっと握りにくいよというお声があるということで、昨年の12月議会で漁野議員より住民さんの声ということでお伺いしていますので、その対応をするための工事となっています。18節負担金、一番下の防災士、こちらは何名分かというところを入れていきたいと思います。想定は2名を予定しております。その下のじゅんかんバスのところの休日勤務報酬なんですけども、365日営業なんで、休みはないよということなんですけども、ただ、あの給料の計算としまして、祝日がかぶる場合があります。成人の日とかいろいろ年間何日かあると思うんですけども、十七、八やったですかね。実際、その下の勤務日なんやけども、祝日がかぶった場合はちょっと割増しで支給するというルールがあります。その関係でちょっと計上しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

由谷総務課長。

○総務課長（由谷陽久君）

私のほうからは46ページ、2目、文書広報費の12節、委託料のところでホームページ運用保守委託料、どこに委託しているかということなんですけど、サイバーリンクス株式会社のほうに委託しております。続きまして、その下の各戸配布委託料は、社会福祉協議会のほうに委託しております。すいません51ページをお願いします。7目、電子計算費の10節の需用費で消耗品費が増えているんじゃないかというご質問なんですけど、これにつきましては、実績、5年度の実績見合いで計上してるんですけども、その中でプリンターのトナーがすごく高くなってきておりまして、その費用の増加分を見越しております。続きまして12節委託料の機器更改委託料なんですけど、これにつきましては、インターネットからLGWANサーバーというのがありまして、それにデータを移すときにデータブリッジという形で機器になるんですけども、これの機器を年数たってますので機器を更改する関係で今回計上しております。続きまして、51ページの一番下のLGWANインターネットライセンス料なんですけども、これにつきましては、ウイルス対策ソフトとかいろいろメールのセキュリティの関係のライセンス料になりまして、今回ちょっとあがってきてるんですけども、以前は12節、委託料の情報系システムに係るシステム保守点検委託料のほうに入っていたんですけども、今回、使用料のほうがいいんじゃないかということでちょっと分けております。毎年いってる費用になります。続きまして52ページのサイボウズライセンス料ということで、これにつきましても、主にメールソフトとかグループウェアで使っているソフトなんですけども、これのライセンス料になりまして、これについてもLGWANインターネットライセンス料と同じように、情報系システムの保守点検のほうに入ってたんですけども、今回こちらのほうに計上替えをしております。続きまして、18節の自治体セキュリティ対策協議会、70万5,000円ということで、6年度につきましては、セキュリティポリシーというこ

とで運用規程の改定を予定をしております、その分の負担金が増えているということでございます。以上です。

○議長（福田忠由君）

山下産業建設課長。

○産業建設課長（山下真一君）

私のほうからは、ページの54ページのエレベーター利用状況のほうを報告させていただきます。まず、エレベーター利用状況なんですけど、2月29日時点の締めさせていただいて、4,543人でございます。また、車椅子につきましては、3人ということでございます。サイクルトレインとして252名の方です。以上です。

○議長（福田忠由君）

和田総務課主査。

○総務課主査（和田正希君）

58ページの12節、委託料、森浦湾施設管理委託料につきまして、こちらにつきましては、森浦湾海上遊歩道の日常的な維持管理について、施設に破損がないか、ロープ等たくさんアンカーロープございますので、陸上から切れてないかとか、浮き体に破損がないかというのを確認してもらうために委託するものでございます。続いて59ページ、ふるさと納税委託料、6,247万円ですけども、こちら実質実入りがどれぐらいあるのかというご質問だったかと思います。こちら、昨年10月にルール改正がございまして、今まで委託料は63%であったり6割であったのが、今回ちょっとルール変わってもう委託料5割というところになってございます。なので、この金額の半額について太地町に入ってくるようなこととなっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

由谷総務課長。

○総務課長（由谷陽久君）

私のほう、すいませんちょっと答弁漏れありました、すいません。60ページのほうをお願いします。都市交流費のほうで、13節で荷物運搬料ということなんですけども、これにつきましては、6年度でブルームのほうからも、ブルームから受入れということで、あちらから来ていただきますので、来ていただいた方の荷物等をちょっと運搬するのに、例えば閑空のほうからこちらへ送ってくる場合とか、こちらから空港とか各施設に送るときの費用を見込んでおります。18節の旅費助成金なんです、今年につきましてはブルーム派遣6名を予定しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

執行会計管理者。

○会計管理者（執行貴弘君）

私のほうから49ページをお願いします。町有林管理委託料の1万7,000円です。こちら、町有林についての生育状況とかの観点から、那智勝浦町の森林組合のほうに委託しているものです。よく伐採の依頼とか、そういうのが来るときは、その生育状況のほうではなく、近隣に迷惑をかけているということで、伐採委託料ということであげさせていただいて、そちらで対応して、そういう支障木の伐採については、そちらの予算を使わせていただいているんですが、あくまで町有林のその生育状況の管理というところで見させていただいております。続いて洗車委託料なんですけど、これ公用車の町長が利用しますアルファードの委託料で、ほかの通常使う公用車については、職員で洗車とかさせていただいてるんですが、何分、町長使う車につきましては、その都度、大事な会議へ行くとか、そういうところもありますので、町職員ではなかなか手が回らないこともありますので、その都度、小畑石油さんとかにお願いして洗車していただいております。続いて59ページをお願いします。ふるさと納税事業委託料になります。こちら漁野議員おっしゃられたように、出から算定した入になると、2億幾らとかいう金額にはなるんですが、あくまで、ふるさと納税というのは特定財源ではありませんので、入の段階では少し低めに見積もっております。歳入欠陥が怖いので。この出については、恐らくこれぐらいはいくだろうというところでの金額であげておりますので、この金額からくる、予想される入がふるさと納税の入のほうへあがってる額とはちょっと少なめにあげさせていただいております。以上です。

○議長（福田忠由君）

漁野副町長。

○副町長（漁野洋伸君）

今、執行から、会計管理者から言うた、ちょっと説明補足といいますか、訂正といいますか、町長、公用車なんですけれども、決して町長だけが乗るんじゃなくて、議員さんでも、視察へ来たときとか、僕らも使わせてもらいます。そこだけちょっと、みんな使ってもうたらしいと思うんですよ。ちょっとよろしくお願いします。

○議長（福田忠由君）

由谷総務課長。

○総務課長（由谷陽久君）

すいません、59ページの17節、備品購入費で移動式バックネットということなんですけども、これにつきましては、グリーンピアのほうにバッテリーゲージ2台あるんですけども、その1台がもう老朽化でちょっと修理がきかない状況になっております。そういうことでして、安全性を考えて今回1基購入したいと計上しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

森本総務課副課長。

○総務課副課長（森本直樹君）

すいません答弁漏れがありました。55ページをお願いします。18節、負担金の一番上の県総合防災情報システム、こちらの昨年度より減っている理由というご質問だったと思うんですけども、昨年度はこのシステムの再整備がありました。システムの更改がありましたので、今回の減につながっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

執行会計管理者。

○会計管理者（執行貴弘君）

50ページの小東駐車場の整備工事の時期を答弁漏れておりました。この駐車場整備工事は、まだ奥の急傾斜、県の事業が終わり次第行う予定にしております、県の状況がちょっと分かりませんので、いつというのはなかなか言及しにくいんですが、令和5年度に実施していただいたのが秋以降にさせていただきましたので、恐らく同じ時期ぐらいになるのかなというふうには想定しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

答弁漏れないですか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

そしたら、小東駐車場整備工事については、もしかすると繰越明許になるか分らんということで考えていたらよろしいですか。これ、去年、井上工務店か何かが落とすとったんですけど、今回、どこが落とすか分らんですけどね。その工事が終わってからということで、町民にどうやって説明したらいいかなと思ってね、近くの人によく聞かれるんで、6年度の末ぐらいというといたらいいかな。それから、駅前周辺整備工事、駐車場の整備ということなんですけど、これタイムズか何か導入したらどうですか。やっぱり、金取るべきだと僕は思うけどね、町民はただにしても、30分ぐらいは無料にして、後、お金取るとか、上限1,000円にするとか、タイムズの導入などをちょっと考えているのかどうか、聞いておきたいと思います。それから、移動式バックネット、グリーンピアの球場はなかなかええんで、これプロ野球とか独立リーグのキャンプ誘致したらええなと僕は前から思っとるんですけど、その辺考えたことないですか。この3点だけお願いします。

○議長（福田忠由君）

執行会計管理者。

○会計管理者（執行貴弘君）

小東駐車場の整備についてですが、議員おっしゃられたように、年度末になる可能性は十分あるかなとは思いますが。ただ、できるだけ早く繰越明許にならないようには頑張って努め

たいとは思いますが。以上です。

○議長（福田忠由君）

和田総務課主査。

○総務課主査（和田正希君）

駅前駐車場の有料化、タイムズの導入を検討してみてもどうかということなんですけれども、基本的に町長、駐車場等につきましては自治体が運営する分につきましてはもう無料でやっていくという方針でございますので、ご理解、ご協力よろしくお願ひいたします。

○議長（福田忠由君）

由谷総務課長。

○総務課長（由谷陽久君）

グリーンピア南紀の野球場の利活用の関係なんですけども、以前も大学とかも合宿とか来ていただいていたんですけども、ちょっと一時期コロナの関係でちょっと来てない時期もありましたけども、その辺につきましても、また今後いろいろな形で検討してきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

質疑でもないんですけども、最近よく議員視察等でマイクロバスを利用させていただいていることが多いんですけどね。このマイクロバス、結構多目的に利用されて、もう年数がたって古いんじゃないかなというような気がします。長距離で乗ると、ぜいたくかも分かりませんが、このクッションも悪いし、バウンドもすごいし、もうそろそろ買い換えていただけないかなというように思うので、今後、検討していただきたいと、これはもう要望で質疑じゃないんですけど。

○議長（福田忠由君）

漁野副町長。

○副町長（漁野洋伸君）

こちらのほうも、一応やっぱり古い、老朽化とか、毎年、この時期というか、毎年その議論になる、議論といいますか、もうやっぱり買わないあかんやろということで、今年もずっと考えていたんですけど、たまたま、たまたまというか、こういう形になったんですけども、ぜひ買いたいと思っております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。8番、筋師君。

○8番（筋師光博君）

私のほうから1件、ご質問させていただきたいと思っております。50ページの節に2段目の14、工事請負費、説明欄にありますように、本庁舎階段昇降機設備工事について、まず高齢者、障がい者に優しいバリアフリーへの取組としてありがたく思っております。まず、その中で、この工事について、工期はどのように考えているのか。その工期については、できるだけ新年度、この予算が可決されれば早い時期に施工していただいて、できるだけ、そういう方でも議会運営がバリアフリーになるように、確認、勉強してもらえるように、そういうふうな形の体制づくりというのは大変大事なかなと思っております。その点についてちょっとお伺いします。

○議長（福田忠由君）

由谷総務課長。

○総務課長（由谷陽久君）

階段昇降機につきましては、私どももいろいろちょっとその辺、以前からちょっと検討してまして、できるだけこの予算認めていただいた後、4月以降、早急に取りかかりたいなど思っておりますので、よろしくお願ひします。ちょっと工期については、ちょっとまた業者との打ち合わせになると思ひますので、できるだけ早く取り組みたいと考えております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

総務費について終わります。暫時休憩します。10時30分より再開します。

休憩 午前10時14分

再開 午前10時30分

○議長（福田忠由君）

再開します。民生費について行います。69ページから84ページまでです。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

最初の説明で説明してくれたとこと、してくれやんとこと、ちょっと分からようになってたよ。70ページの役務費の8ミリのフィルムデジタル化作業費の説明をお願いします。それから、これらも説明してくれたのかな、委託料のほうの地域ケア事業派遣委託料等、温泉は記憶にあるな。それから、多目的センターの指定管理委託料の198万2,000円の増。その下の福祉協議会の819万円の増について説明をお願いします。71ページの委託料の

緊急通報業務委託料、令和5年の実績をお願いします。それから、買物等支援事業委託料、203万4,000円の増ということ、通院支援事業委託料、385万5,000円、73ページの福祉農園事業委託料、それから、椰の74ページの施設修理費、350万円、それから、今回、会計年度任用職員の予算が計上されてないんですけども、その理由をお願いします。以上です。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

70ページお願いいたします。8ミリフィルムデジタル化作業なんですけれども、こちら、昔の8ミリフィルムとか、そういう懐かしい映像をデジタル化するための費用となります。こちら介護予防教室とか、デイサービスなんかで上映して皆さんに楽しんでいただくために計上しております。地域ケア事業なんですけれども、こちらは包括支援センターのほうに派遣といいますか、派遣なんですけれども、そちらの社会福祉士と理学療法士の2名の人件費と事務費分をこちらで計上をさせていただいております。多目的センター指定管理委託料なんですけれども、こちらの人件費の増とか運営経費の増、後プールの水質管理の費用とかございまして、こちらの増額をさせていただいております。その次が、太地町社会福祉協議会助成金なんですけれども、こちら職員のほうが人事の配置替えによる増ということで増えています。また、勤勉手当なども含まれております。後、所有車両の維持費とかパソコン機器等の事務費の経費もかさんでおりますので増額となっております。71ページをお願いいたします。緊急通報装置なんですけれども、実績が2月末で49名となっております。買物支援なんですけれども、こちらは去年より増額となっております。こちら、人件費が発生しております。その次の通院支援事業委託料と1人こちら兼務という形で1名雇入れをしております。そのほかの業務の兼務のものもございまして、そちらの人件費となります。73ページの福祉農園でございますが、こちら中学校のグラウンド横の畑なんですけれども、こちら町に寄贈をいただきました。こちら、障がい者の施設の方に協力してもらって維持管理をしていただくための費用となっております。74ページの施設修理費なんですけれども、こちらのちょっと5年度の実績もだいぶ出ております。それで今年度見越して増額をさせていただいております。会計年度任用も、費用が全くないんですけども、こちら会計年度任用の任期満了を迎え、その後、後任、新年度においては後任を置かないこととしたためでございます。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

まず、70ページ、先ほど漁野議員からも質問ありました地域ケア事業と太地町多目的センター指定管理委託料、そして18節、太地町社会福祉協議会助成金ということで、ほとんど私が見る限りこれは人件費にいつてるんじゃないかなというような気がします。特に、社会福祉協議会助成金が約819万円ぐらいの増になってます。余りにも大きいんじゃないかなというような気がします。前回の臨時議会の補正予算の中でも、人件費がということだったですよ。当然、人勤に即した給料の値上げというのは理解できる部分がありますけれども、余りにも多いんじゃないかなというような気がします。そこら辺はどうなのかなということをお聞きしたいと思います。そして72ページの18の負担金補助及び交付金の老人福祉施設一部事務組合分担金ということで270万3,000円があがってます。これは、前年よりも少なくなっているんですけども、これ養護の分担金だと思うんですけどね。新聞報道等によりますと、昨年、新宮市の寿楽荘が16人、南紀園の養護に入ってきたということですよ。だから、16人入れれば収益は相当あると思うんですよ。それで、減ってるのが約36万3,000円ぐらいだと私は認識してるんですけども、低いんじゃないかなと、もう少し下げるべきじゃないかなと、分担金をですよ、町のね。そこら辺がどうなのかなということをお聞きしたいと思います。後、老人福祉施設入所措置費、これが1,029万3,000円と、これも増えてるんですけども、これは要するに措置で入れる方の分だと思うんです。ほんで、また何かあれば措置で入ってもらわなあかんということで、余分に予算は取ってると思うんですけども、ちょっと高いのかなとは思ってます。そこら辺もちょっと説明をしていただきたいというように思います。そして、次に76ページ、12節、374万5,000円、広域保育事業委託料、これは家族というか、町外で働いてるお母さん等々があれば、その地域で保育をしていただけると、入れるよと、その保育所に入れるよということだと思えます。これが、何名の方が行かれてるのか、どこの保育所に入られてるのかということをお聞きしたいと思います。そして79ページ、12、委託料です。空調設備保守点検委託料、これも以前お願いして全般的に質問したいと思うんですけども、後同じ質問なんで、82ページの12の委託料、空調設備保守点検委託料、これ全部、全部屋を、空調がついてるところですね、全部屋を清掃、専門業者によって清掃してもらえるのか、そこら辺をお聞きしたいと思います。それだけです。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

70ページのこちらの地域ケア、多目的センター指定管理、社会福祉協議会助成金ということで、議員さんおっしゃられるように人件費というところで多数を占めるのかなと思っております。こちら増額、かなりの額ということで精査といいますか、先方とも協議を重ねて

まいりました。ですが、こちらのほう必要経費というところで、今回は増額のほうで、方向で計上させていただいたところでもあります。なるべく経費のかからないようにというところで、微力ながら私もいろいろとあの意見は申させていただきましたので、その点ご理解いただきまして、よろしくお願ひしたいなと思います。72ページのほうをお願いいたします。老人福祉施設一部事務組合分担金でございますが、こちら、寿楽荘のほうから10数名入られました。こちら、運営に係る3,000万円という金額を構成市町村、6市町村で分担するような形でございます。こちらが人口割5割、均等割が2割、入所割が3割ということになります。ですので、入所の関係で影響が出るのが3割で900万円のうちということになります。そうすると、この部分での差額が30数万円というところになってまいりますので、単純に3,000万円を人数で割るでしたら、かなりの差額が出るかとは思いますが、こういう計算で成り立っておりますので、そちらのほうもそういうことでご理解をいただけたらと思います。老人福祉施設入所措置費でございますが、こちら昨年度は4名の人員の予算をさせていただきました。今回、5名でさせていただきます。今いろいろ入所に向けてご相談というのもありますので、ちょっと余分に取らせていただいております。以上です。

○議長（福田忠由君）

漁野教育委員会次長。

○教育次長（漁野文俊君）

76ページ、広域にどこに通って何人行ってるかということなんですけれども、令和6年度では、わかば保育所に4名、下里保育所に1名の予定です。空調の清掃なんですけど、全部かということなんですけど、一応全部を予定してまして、こども園のほう天井はめ込み式の形でちょっと複雑な形で専門的な技術がいるんでちょっと高く見積もっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

課長のほうから、人件費に関してご理解をということなんですけれども、住民からの声は、ちょっと社会福祉協議会がどのような仕事をしてるのかと、ちょっと仕事の薄いんじゃないかというような声も聞こえてきます。今現在、どういうことをやられてるのか。だから、目に見えないというような声も届いてます。だから、そこら辺で人が多いんじゃないかという声も中にはあるんです。だから、それに見合ったような事業を、僕も見ても社会福祉協議会で今何やってるのかなと、僕が課長の時代からそんなに変わってないのかなというような気がするんですよ。これは、介護保険法でやられるのかどうか分かりませんが、朝、

体操はやっていただいています。これは僕のと昔からは変わったかなとは思いますが、それがそんなに変わってないのに、人件費だけが増えてきているような気がするんです。それで今回質問させていただいたんですけれどね。だから、そこら辺福祉は金のかかるというのは私も十分承知してまして、町長は福祉に関しては熱い思いを持っています。ただ、やはり費用対効果ではないんですけれども、経費がいる分もう少し事業をやっていただくような、新たな事業、新しい事業を考えていただきたいなというように思います。空調設備はありがたいと思うので、そこら辺、また各小学校、中学校と同じこと聞くかも分かりませんが、そこら辺は答えていただきたいと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

漁野副町長。

○副町長（漁野洋伸君）

福祉関係については、海野さんもスペシャリストだと思うんですけれども、ただ、海野さんこの人件費、確かに何してるかあるんですけど、まだこれでもですね、折衝の中で結構抑えてるんですよ、正直申し上げて。結構、要望がいろいろな事業があるので、これをもう1人入れたとか、2人入れたとかとあるんですけれども、その都度、下津頑張ってくれてやってるんですけれども、ただ、そういうお声が海野議員には届いてるかも分かりませんが、一方では海野さんのときからじゃなかったかな、なかよし体操とか、青空体操とかも取り入れて福祉の充実でやってますので、今後、温かく見守っていただけたらと思います。十分努力しますのでよろしくお願いします。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

今回の議会ちょっと何かおかしいんやけどさ、ページ間違えてばかりなんでごめんよ。僕も70ページの太地町社会福祉協議会助成金、令和4年から令和5年で310万2,000円の増、今度は819万円の増、1,000万以上、2年間で増えてあるんですよ。ちょっと異常だなと、これも思うんですけど、再度説明をお願いします。1,000万円ですよ、2年で。1,100万円かな。それと、71ページの通院支援、これ何で、町立と新宮医療センターだけなんですか、その辺説明してください。太地からは木下は結構行っとるみたいなんで、町立行くときに木下も寄ってもうたら、寄ったらええと思うんですけど、その辺ちょっとどのように考え持っているか。それと、この柳のところがと開いてあるからね、もうここで終わりかなと思ったんや。広域保育事業委託料も聞くことになってあったけども海野さんが聞いたんで、76ページの児童手当システム改修委託料、これ高校生が入るからかな。それと78ページの一番上のチャイルドシートですね、令和5年度の実績をお願いします。

す。それから、学童保育、今年の利用者予定数、これ説明してくれたか分からんけど、聞き忘れてあるんで、定員だけ70名というのは記憶あるんですけど。それから、こども園の人数、令和6年度の0歳から5歳までのそれぞれの人数、合計をお願いします。それから、職員が9人分ということで、令和5年から1名減となってるんですけども、業務に支障はないのか聞いておきたいと思います。それから、81ページの消耗品費、これは105万4,000円の減ということで、こういう100万とかそんな説明してくれるというんやけど、全然説明してくれてないんやけどね。僕はそれを期待してあったんやけど、100万とか何とか言われなんだ、議会運営委員長。新規とやめた事業は全部説明するということやけど、全然してくれてないんでね。もうだいぶ付箋取れるかなと思ったけど全然取れてない。82ページの11節の制服仕立て直し代3,000円、細かいですけど、これも去年なかったと思うんやけど、これから、83ページの一番上のトイレ脱臭装置管理委託料、それから、通信ケーブル引込工事、それと18節に県社会福祉協議会負担金、5,000円と和歌山県保育士会会費4万4,000円がなくなってるんですけど、これも説明をお願いします。それから83ページの、いつも聞いている乳幼児医療費、令和6年は国保、社保、何名分を見込んでいるのか。それから、就学児医療費390万円、これは令和5年の実績をお願いします。それから、84ページのひとり親医療、これも国保、社保、何名見込んでいるのか。それから生活保護、令和6年は何人いるのかですね。以上です。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

70ページでございます。社会福祉協議会助成金というところで、議員さんおっしゃられるように、年々こちらの負担金も上がってきております。今年度につきましても、先ほどもちょっと説明させていただきましたが、社会福祉協議会とのいろいろな折衝させていただきました。それで、必要経費ということでこういう形になっておりますので、よろしく願いいたします。通院支援事業委託のほうの通院先というところで、近隣の公立の新宮市立医療センター、那智勝浦町立温泉病院の2か所というところでございますが、民間の医院となりますと結構な数がございます。それが全てというふうになると、何かと収拾がつかないような状況にもなるかと思っておりますので、現時点ではこの2病院、総合的な公立病院というところで進めさせていただきたいと考えております。76ページのほうをお願いいたします。児童手当システム改修委託料でございますが、こちら、10月から高校生のほうも対象になります。そちらに向けてのシステム改修となります。78ページをお願いいたします。チャイルドシートの件数なんですけれども、8件になっております。83ページをお願いいたします。乳幼児医療費でございますが、国保が16名、社保が69名の合計85名になります。就学

児の件数なんですけれども、国保が54、社保が111名の合計が165名となっております。84ページをお願いいたします。ひとり親医療なんですけれども、こちらは国保が17名、社保が26名の合計43名となっております。その次の生活保護なんですけれども、こちらは24名の20世帯となっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

漁野教育委員会次長。

○教育次長（漁野文俊君）

78ページをお願いします。学童の人数なんですけれども、通常時は60名を予定してまして、長期、夏休みとかになると70名まで見る予定にしています。79ページからのこども園の人数なんですけれども、令和6年3月現在で、0歳児が5名、1歳児が8名、2歳児が6名、3歳児が14名、4歳児が13名、5歳児が14名で合計61名となっております。職員が減になったということなんですけれども、退職者が出まして、そんな関係で人数を1人減らして計上してあるんですけれども、もちろんこちらのほうからも要望はしてまして、職員のほうの補充をお願いしてあるところなんです。81ページ、消耗品が減った理由なんですけれども、実績に基づいて減らしております。82ページの制服仕立て直し代なんですけれども、4月に貸与した制服が成長してきて予想以上の成長をした子供がおったら、サイズに合わせて仕立て直しをしているということで、もしくは新しい制服をもうサイズ大きいので貸与してあるんですけども、一番大きいサイズでも足りなくなった子供の仕立て直すようにしております。83ページのトイレ脱臭装置なんですけれども、脱臭液の補充とか、故障時の対応をしていただくのに委託料を計上させてもらってます。通信ケーブル引込工事なんですけれども、ZTVさんの光回線を引き込む工事を予定しております。負担金がないという理由なんですけれども、保育士会が必要なくなったということで減額させてもらってます。なくなった理由はそういうことです。社会福祉協議会の負担金なんですけれども、保育所時代からこちらのほうで計上してあるもので、引き続きこちらで計上させてもらってます。以上です。

○議長（福田忠由君）

答弁漏れないですか。ほかに質疑ありますか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

通院支援事業なんですけれども、僕は全ての個人病院行けとは言っていないんですよ。町立行くんだったら木下で降ろしてついていう意味で言うだけであって、町立行くんやったらあそこの前通ったら別にそれでええんちゃいますかということ言うてるんですけど、それも考えてないんですか。木下、結構太地の人多いんでね。そういう配慮もしたらええなと思うんですけど、それはもう全然考えてないんですね。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

議員さんおっしゃられるように、町立温泉病院の本当に近くにある医院ということで、木下先生ところというところで、ご提案といたしますか、あれだと思わんですけれども、今のところはこの2病院のほうで進めさせていただきたいと考えております。よろしく申し上げます。以上です。

○2番（森岡茂夫君）

ほかに質疑ありませんか。7番、三原君。

○7番（三原勝利君）

いろいろやり取り聞いてるんですけど、この国のほうからマイナンバーカードの発行、これをこの11月までにやってほしいんだというのが総理の発言などにあるんですけど、マイナンバーカードがどのような形で作用しているか、行政のデジタル化ということで、これはもう当然その方向へ進んでいくと思うんですけど、私自身はアナログ人間なんで、なかなかデジタルについていけないというところがあるんですけど、その第一歩として、行政に求められているマイナンバーカード、これ現状どうなっているか、発行数がどうなのか、それについてお伺いしておきたいと思います。

○議長（福田忠由君）

休憩します。

休憩 午前11時04分

再開 午前11時07分

○議長（福田忠由君）

再開します。ほかに質疑ありますか。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

70ページの説明の一番下にある成年後見制度、後見制度ですね、これはどういう行為に対して助成金が支給されるのか。それから、前年度の実績を教えてください。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

こちらの制度としましては、認知症などにより判断能力が不十分でかつ身寄りがいないなどの親族などによる後見等開始の審判を申請できない方について、町長が代わって申請を行ったりするものでございます。こちら実績のほうはございません。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（福田忠由君）

民生費について終わります。衛生費について行います。85ページから96ページです。質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

これは87ページの高齢者インフルエンザ、これ去年まで値段と人数書いてくれとったんですけど、これの値段と人数をお願いします。こういうのも書いておいてほしいなと思うね、ほんまに。それから、88ページの12節の委託料で、小動物死骸火葬業務委託料、令和4年はゼロだったんですけど、令和5年の実績をお願いします。それから、飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金、これ、雄、雌、令和5年の実績をお願いします。そして、夏山地区の猫、問題に、新聞に載ってましたけど、太地町としては、今度は猫のまちにするんですか。これ、非常に猫多いんですけど、これ、どのように考えているかちょっと考えを聞かせておいてほしいと思います。自動車が行っても逃げやもんねこれ。それと、89ページの妊産婦健康診査委託料、これも実績、令和5年の実績をお願いします。それから、その次の特定不妊治療費助成金の実績もお願いします。塵芥処理費の施設修理費200万円についての説明をお願いします。これ、伐木集積場整備委託料というのですか、ちょっと説明してくれたみたいですけど、再度説明をお願いします。それから、この清掃センターの95ページ、センターの解体工事は、この令和6年中に解体工事が終わると理解しておいて、7年、8年で次やるということですね、確認しておきます。それから、フォークリフト借上料というのがあるんですけども、令和5年フォークリフトを購入したですよ。また、フォークリフト借上料が計上されているので、これの説明をお願いします。この最後の96ページの水道事業会計負担金、これは過疎債ですか。以上です。

○議長（福田忠由君）

稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

87ページの高齢者インフルエンザですが、これは4,550円で764人分です。一緒です。88ページの飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の助成金ですが、これ、4年度この議会のとときにはまだあがっていませんでしたが、4年度の末で雄4匹、雌1匹分の助成金を出しています。5年度、今現在ではあがってきておりません。すいません、一つ上の委託料の小動物死骸の火葬の委託料ですが、これは5年度実施では18匹分となっております。6回分でした。89ページの12節、妊産婦健康診査委託料の実績ですが、11名分で81回分です。不妊治療ですが、実績はありません。以上です。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

94ページをお願いいたします。施設修理費、200万円でございますが、こちらは令和5年度の修理費の支出見込みに合わせて計上をさせていただいております。それと、昨年度これ施設修理費のみの計上だったかと思うんですけれども、その上に車修理費ということで50万円またちょっと別に計上させていただいておる関係で減額となっております。すいません、94ページの下から2番目の伐木集積場整備委託料になりますが、こちらは山中2号線沿いに枝木を伐った木を一時仮置きをしているところがございます。こちらがかなりもういっぱいになりまして、これ以上ちょっと搬入ができないような状況になっております。こちらの伐木を撤去する費用になっております。95ページをお願いいたします。フォークリフト借上料でございますが、こちら令和5年度で購入の予算をあげさせていただきました。こちら、リースを行ってまして、リース、買換えによるとそのリースをしている車両をリース途中で解約をすることになってしまいます。そしたらちょっとその解約にかかる弁償といひますか、そういう費用が余分にかかってしまうということが分かりまして、それでちょっともう継続してリースを続けることにさせていただきました。それで令和6年度につきましては借上料ということで計上させていただいております。後、清掃センターの解体工事につきましては、こちらは令和6年の年度末に開始できればと考えております。こちら、6年度、7年度で解体を行いまして、8年度で最終整備というふうな計画で進んでおります。以上です。

○議長（福田忠由君）

稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

すみません一つ答弁漏れがあります。夏山地区の猫の件ですが、猫のまちにするつもりはないんですけれども、いろいろ対策のほうも行っているのですが、なかなか追いついてない状況です。以上です。

○議長（福田忠由君）

脊古産業建設課副課長

○産業建設課副課長（脊古 景君）

96ページの上水道事業費の水道事業会計負担金ですが、3,812万5,000円のうち、1,730万円が過疎債の予定となっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

92ページです。人間ドック委託料ということで、これ要望させていただいて、新規事業として計上していただいたということで、非常にありがたいと思うんですけども、これはどこでドックを受けられるのか、現時点の医療機関が分かれば言っていたらいいと思います。そして、自己負担は幾らぐらいなのか。医療機関によってドックの検査費用というのは違うと思うんですけども、大体の額が分かれば教えていただきたいと思います。そして、要望、今後、恐らく増えてくるんじゃないかなというような気もします。それで、受入れの医療機関も医療体制の問題等で、今厳しい状況だと思うんですけども、医療機関が受け入れられということであれば、この人員からもう少し増やしていくというようなことは考えているのか、そこら辺お聞きしたいと思います。

○議長（福田忠由君）

稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

人間ドックの現時点で受入れ可能と言ってくださってる病院は、新宮市立医療センター、那智勝浦町立温泉病院、串本病院と坂野医院の4医療機関です。自己負担ですが、一般会計のほうでは社会保険の人の分をあげさせていただいてまして、自己負担は2万円と考えております。今後の医療機関なんですが、私たちとしてもできるだけ多くの医療機関のほう、田辺とか和歌山とかの医療機関も増やしていきたいと思っております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

できたら、そういうように、やはり予防医療というのは、町長一番よく言われることですが、やはり医療費を抑えることにつながるんじゃないかなと思いますので、そこら辺今後ともよろしくお願ひしたいと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

答弁は要らないですか。ほかに質疑ありませんか。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

95ページの説明の上から4番目にある清掃センター解体工事施工監理業務の委託料、1,364万円ですね。あえて施工監理を委託するというのは、その大きな理由を教えてくださいと思います。その下の工事請負費の清掃センター解体工事これ、これ現時点でまずダイオキシン調査はやったのかどうか、やったのであれば、見つかったのか見つかっていないのか。それから、土壌処理や何かが発生するのか、もし今の時点で分かっていることがあれば教えてください。以上です。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

解体の施工監理業務につきましては、大きな工事になりますので、そういうところで管理をしていただくということであげさせていただいております。後、解体にかかるアスベストとか、ダイオキシンの調査なんですけれども、前段階とといいますか、事前調査ということで建物の中には入って調査はしておりますが、ちょっとまだ結果のほうは出ておりません。後、土壌につきましては、まだちょっと実施はしておりません。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

今、同じところなんですけど、解体工事の施工監理なんですけど、これはあれなんですけど、やっぱりこういうアスベストだとか、ダイオキシンの見つかる可能性のある建物に関して、管理をできる専門業者というのがいるんですか。それとも、私のような1級建築士事務所に頼むんでしょうか。どういうところに委託するのか教えてください。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

すいません、ちょっとそういうアスベスト、ダイオキシンが含む場合のこういう施工監理というのがどういう資格のあるところに委託をするべきかというところが、ちょっと申し訳ございません、私把握できておりませんので、その辺りちょっとどういうところというところでは、ちょっと今すぐにはお答えできませんので申し訳ございません。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

まだ予測できないままに、この予算計上したのがちょっとよく理解ができないんですが、一つこれは私なりの今までの経験からなんですけど、やはりアスベストだとかダイオキシンや何かのおそれのある建物の解体というのは、解体業者が非常に一番詳しいかと思うんですがただ、設計・施工分離の原則というのがありますので、できる限り、やはり第三者の立場で厳正に管理ができる、そういう業者を探してほしいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

業者選定につきましては、いろいろと考慮して考えていきたいと思ひます。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

この清掃センター解体工事というのは、繰越明許になる可能性大ですね、違うんですか。令和6年度末から着工ということなんでね。ほんで、7年、8年ということやるといことなんで、説明だったら。もうこれは繰越明許ということになってきますよね、そうじゃないんですか。それと、夏山の猫なんですけど、これ何頭ぐらいおるか把握してます。やっぱり、猫好きな人ばかりやないんでね。これちょっとどういう処置してるのかというのを、今のところ何もしてないみたいなんで、ほっといたらどんどん増えてくと思うんやけど、これちょっと町の考えを聞かせておいてほしいと思ひます。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

こちらの解体工事につきましては、予算書10ページのほうで債務負担行為ということで、事業年度、令和8年までということやさせていただきますので、よろしくお願ひします。夏山の猫についてなんですけれども、頭数についてはちょっと把握していません。かなり増えてきているというのは、我々も認識をしております。保健所と連携をいたしまして、いろいろと情報交換してはやっておるんですけれども、保健所のほうもですね、先日ちょっと行きましたらおりを置いてまして、避妊に向けていろいろ取組をしてくださっているようです。というところで、今後、県等と協力していろいろな対策を進めていきたいと思ひております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

衛生費について終わります。労働費について行います。97ページです。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

労働費について終わります。農林水産業費について行います。98ページから105ページまでです。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

99ページの需用費、それから、トラクターの燃料費が削除されているということで、説明をお願いします。それから、その下のほうの委託料の地籍情報データ異動修正業務委託料についての説明をお願いします。それから、これいつも聞いてるんですけど鳥獣有害駆除、報償費の中で令和5年の実績をお願いします。それから、役務費の中の狩猟許可申請等手数料、これ4名分ですよろしいですか。それから、101ページの鳥獣防除網ですか、後、資材費補助金、それから農作物鳥獣害防止総合対策事業費補助金、1万円、これの説明もお願いします。これ、やっぱり実績はあるんですか、これ。それから、102ページのベンチ製作委託料、これどのような入札をしているのかということと、それから、令和5年度どこがベンチ製作したのかですね。一番下のふれあいの森管理業務委託料、これ令和5年度はなくなっただように思うんですけど、それから、103ページの委託料で海岸漂着物処理委託料、これどこに委託しているのかですね。県漁港漁場協会負担金の

(9番 花村 計君 離席)

負担金が、これ変動が大きいんですけども、これはどういう理由で変動してるのかですね。それから、いつも聞いとるんで聞いておきます。104ページの磯根漁場再生事業委託料、これも実績かな。その下の稚貝稚魚放流事業の実績、それから、建物災害共済保険、これ荷捌施設なんで、これの実績をお願いします。そして、公衆便所の塗装修繕工事というのは、どういう理由でやるのか。それから、捕鯨対策費の普通旅費について説明をお願いいたします。それから、105ページの太地町連絡協議会の助成金のこれ決算ができてたら、後でほしいと思います。それから、その下の全国鯨フォーラム in 太地2024助成金、200万円、これについての説明をお願いします。以上です。

○議長（福田忠由君）

山下産業建設課長。

○産業建設課長（山下真一君）

まず、99ページでトラックの燃料費だったかと思うんですけども、燃料費、これ実際の実績がなかったんです。それで、今回もし発生したらということで需用費の中で切らせていただくということで、一旦これ消されてるというか、中へ入れさせていただいております。次に、地籍情報データ異動修正の委託料なんですけども、これを2年に1回やっている事業でありまして、前回なかったんです。これ、地籍の情報をシステム化しておりまして、これの異動修正やっぱりかかってきます。これの分の費用でございます。次に、100ページの実績のほうを申し上げます。まず5年度、6年2月29日実績ということになりますかね。まず、シカなんですけど123頭、イノシシが26頭、サルが7頭、アライグマが4頭、計で160頭となっております。次の、100ページの狩猟免許の4名分かということだったんですが、4名分ということでお願いいたします。次に、101ページの狩猟免許講習の負

担金1万円、これ個人で新規で取得した場合発生するんです。この部分を1万円としてあげておるんですけども、これ実際、個人が負担した分は県からも補助されるんで1万円、また入されるので、結局、相殺されるということです。出は一応1万円計上しておるといところでございます。次の下ですかね、防除の資材のほかの補助金10万円ということなんですけども、実績自体は令和5年度は0件、4年度も0件でございまして、遡ってみると令和3年に2件あったというのがございます。これが実績というふうに思われます。ただ、予算上取っておかないと何かのためにということであげさせていただいております。次に、102ページのベンチなんですけども、これ入札はさせていただいたんですけども、橋本工務店さんにお取りいただいたということでございまして、令和5年の13基つくっております。次がふれあいの森の管理ということで、102ページの一番下なんですけども、これ昨年度は個人の方に有償ボランティアということでお願いできてた部分があったんですけども、その方が高齢を理由というか、ちょっと体力的にしんどいということで急にできなくなりました。令和5年度中に業者を急いで探したところ、町内の除草業者さんが大体同じぐらいの金額でやっていただけるといことやったんで、月に大体1回は絶対見てくださいといこと、大体15回予定して9,000円ぐらいで見てくれるといことだったんで、15回分の13万5,000円を委託料として計上した次第でございまして。次に、103ページの海岸漂着物処理委託料というのがあったかと思うんですけども、これ実際海岸というのは漂着物が来たときに対処することになりまして、業者とは決まってないんです。でも、実際、令和5年度でしたら、かなり台風の被害があつて100万相当ぐらい急に撤去作業が発生しまして、それで業者にできる方をお願いして取ったといことがありますので、これは別に特に決まってないといことをお願いいたします。次の負担金に県の漁港漁場協会の負担金、これ変動大きいといことであつたかと思うんですけども、これ実際、漁港の工事、大々的にやっているのはご存じかと思うんですけども、これ護岸等の工事でかなりの金額があります。ただ、これを助けていただくのがこの負担金を持ってやっていただくと、この工事費といのは、これ実際何億もかかるものをこの額でやるんですけど、実際この3億5,000万相当の分でやりますとい、これの計算率を応じて弾いたのが123万2,000円と会費の2万円があつたんで、この金額。ですので、前回の金額が工事費が安いとこれが変動するといような格好になります。次に、

(9番 花村 計君 着席)

104ページ、磯根再生事業なんですけども、これやはり藻場の再生といこと、藻場の育成をできる基定質といことですか、それを置く作業をやっていただくんですけども、実績ちょっと今まだ手元にはないんですが、漁協さんに委託してやっていただいております。それもまたあがってくるのかなといことうに思っております。次に、104ページそのまま

で、建物の災害共済のほうから実績と言われたんですが、一応紙につくっておまして、まだ例年、それでよろしいでしょうか。お願いいたします。その下に行くと、公衆便所の塗装という修繕工事というのがあるんですが、これ委託料と工事費にあげさせていただいて、合計すると280万円になります。これ実際、東の浜のふれあい広場のトイレがかなり外装傷んでおまして、早いことケアしないとイケないのかなということで、今回、あげさせていただいております。それから、同じページの捕鯨対策費の普通旅費なんですけども、これコロナとかの影響で、実際、事業縮小傾向であったんですが、ただ、捕鯨に関しては来年その鯨フォーラム等もあったり、いろんなイベントが復活してまいります。一応、見積りをと考えたんですけど、鯨フォーラムで大体東京へ2回ぐらい行くんじゃないかなということで35万円相当考えてあったり、通常、捕鯨の食文化を守る会出席してたり、捕鯨を守る全国自治体連絡協議会に、これ例年行っておるんですけども、これも3人で参加したりやる事業、ですので、ある程度その事業の動きというのを見て計上しているところでございます。それから、105ページ一番下から二つ目の地域捕鯨を守る、これ決算書まだなんですが、出来次第またお渡しすることということです。最後の全国鯨フォーラム in 太地ということで200万円計上させていただいております。これにつきましては、まだ募集はかかってないんですが、年度替わりましたら、補助金の募集に応募します。大体これ補助金取れるのが上限が800万円と言われておまして、これに対して、鯨類研究所と公社と太地町が共催の格好になります。このときの応募が公社から応募して、それに対して、事業を進めて、フォーラムを進めていく格好になります。ですので、太地町からの負担というのが200万円あって、補助金で大部分をまかなうというような事業になっております。まだ計画を4月ぐらいに出したいので、まだちょっと詳細はこれから詰めていきたいと思っております。104ページ、クエの放流でよろしかったですか。稚貝稚魚放流事業、これについては、まだ実績いただいてないんですけど、エビと貝の放流を漁協さんに毎年お願いしてまして、また、実績があがってご報告ということになってます。104ページの分が中間魚育成というのが、今年からなくなっておるんですけども、これ実際、ウニの駆除というふうなほうに転換、漁協のほうから提案ありましてさせていただいております。クエの実績としていたしましては、9月の28日に実施しておまして、各所に何尾分けて放流をしております。2,270尾ということで行っております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

まず、98ページ、説明のときに人件費の減という説明があったかと思うんですけども、これはなぜ人件費が減ったのか、それをちょっと説明していただきたいと思っております。そして、

後100ページなんですけれども、先ほど課長のほうから捕獲頭数を言ってくれました。結構頑張ってくれてるなと思うんですけれども、清水の墓の辺りで猿が多いと聞いてるんですけれども、猿というのはなかなか駆除が難しいと思うんですけれども、今後、その対応をどうやっていくかということをお聞きしたいと思います。そして、捕鯨フォーラムですかね。これ、具体的にはまだ決まってないと思うんですけれども、どのような形で、概略、予算をとってるからにはある程度のことを想定して取られたと思うんですよね。そこら辺分かればちょっと説明していただきたいなと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

山下産業建設課長。

○産業建設課長（山下真一君）

まず、98ページの人件費の減なんですけども、これ個人名出さない、まず下津課長の前回取ってたのが、当時の志村に変わったということで人件費相当がかなりということですね。次に猿対策、100ページにあったかと思うんですけど、確かに猿のほう聞いてます。今の対策としては、例えば今、煙火花火でやるのも今回5年度やらせていただきました。さらに、ちょっと言葉ですけど、猿を餌づけして追い込んで、そこで捕ってしまおうというのを今やっております、餌の餌代とかあがってるのは、猿を捕るために餌づけしてそこで何とかならないかという作業を行っております。そういうところでございます。最後のフォーラムの説明なんですけども、これ実際、職員の数とか動くと考えたら、くじら祭りのところに合わせられないかなというのを今考えております。ですので、くじら祭りをやりながら、その前にフォーラムとか入れて、そこで町内のツアーとか、ここで上手いこと抱き込んでいけばいいのかなと考えておるところです。ただ、この200万円というのは、補助金で見れない部分を何とかこれで補填したいというところがありますんで、例えば食事とかいろんなもの、多分駄目なんじゃないかなと思うんです。ですので、ここで何とか上手に回していきたいなと思ってます。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

農林水産業費について終わります。暫時休憩します。午後1時より再開します。

休憩 午前11時46分

再開 午後 1時00分

○議長（福田忠由君）

再開します。商工費について行います。106ページから111ページまでです。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

107ページの18節、負担金補助及び交付金の中の真ん中辺にある太地町創業支援事業補助金15万円について、これどういう目的なのか、それからどういう事例を予測しているのかちょっと教えてください。それから、110ページ、工事請負費の捕鯨船第一京丸修繕工事4,940万円、これ修繕が終わったら中へ入るんでしょうか、もう一度でもいいから僕中へ入りたいもんですから、公開されるんでしょうか。以上です。

○議長（福田忠由君）

山下産業建設課長。

○産業建設課長（山下真一君）

まず、107ページの太地町創業支援事業補助金の15万円なんですけども、これにつきましては、本町の産業の振興、特に商工業の活性化を目的といたしまして、町内で創業する小規模事業者に対し予算内の範囲内で補助金を交付するという事業なんですけども、実際、今まで商工の活性化してないということで、下支えできないかなという町の試みで5万円、1件につき、3件分を予定をしておるんですけども。これは一応、商工を目的といたしますので、第一次産業、特に水産とか農林水とかは考えてなくて、特に商工に資するというふうに思っております。捕鯨船第一京丸なんですけども、こちらは一応外装を塗装するんですけどもその後はまだ、入るようにはならないということでもよろしくお願ひします。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

先ほどの5万円と言いましたけれども、その5万円は少なくはないですかね。もう一度どういう事業等を想定してるのかということをお聞きしたいと思います。後、商品券なんですけれども、これ1人なのか、世帯なのか、あくまでも商品券ということなんで、前回みたいな形になろうかと思うんですけれども、協力していただける業者に速やかに換金できるような体制もとってあげてほしいと思うんですけれども、どうですか。

○議長（福田忠由君）

山下産業建設課長。

○産業建設課長（山下真一君）

一口5万円でも、やっぱり周りを見渡して考えたんですけども、実際にやってみないと分からないんです。想定してたのは、本当に小規模でちょっとだけ助けてほしいんだけどという方に、前に森岡議員さんもこんな人、相談を受けたんだけどというところから端を発して

おりまして、例えば小さいなんか機械買いたいんだけどお金が足りないよという、本当に小さいことなんですけども、そこからフォローしてあげたいなと思うんですけども、実際、また今度、この事業が軌道に乗ったりいろんな発展性があるならば、また金額の上限というのもまた変えていくべきかなと思っております。次に、商品券なんですけども、令和5年度もやらせていただいたんですけども、今回5,000円で1人につきということでお配り、今回送付なんですけども、前は個人に宅を訪問したんですけど、今回は郵送で1人5,000円ということで一応考えております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

今、商品券が郵送やっていうことで答弁もうたんですけども、そしたら、106ページの超勤手当商品券配布となってあるんですけど、これの説明をお願いします。それから、110ページの観光ホームページ管理委託料、これどこに委託しているのかですね。そして、13目の自動体外式除細動器借上料、これは去年は海水浴場と駅舎、観光案内所という場所も明記してくれてあったんですけども、今回それは書かれていない。どっちがいいか分かんんですけど、今後も入れといてほしいなと思うんですけども。それから、鯨尾びれモニュメント塗裝修繕工事、これの塗装というのは記憶なんやけど、いつごろ前やったですか、これ。それから捕鯨船、第一京丸、前のときは大体2,400万円ぐらいやったと思うんですけども、これ約倍ですね。これも4年前ぐらいやったですか。それから、芝刈機1台20万円。それから、18節の吉野熊野国立公園熊野地域美化掃除、これ110万円増になってます。これ人件費でしょうか。それから、111ページ、これも説明してくれたのかな、紀南エリアサイクルツーリズム協議会負担金、それがこの花火大会の助成金というんですかがないんですけども、多分ここに載ってあったと思うんですけどね。何でこれないんですか。以上です。

○議長（福田忠由君）

山下産業建設課長。

○産業建設課長（山下真一君）

まず、106ページの商品券の超勤手当の件ですけども、実際、業務がすごく多重になることがあります、これがすごく後ろの時間を費やすことが想定されます。ですので、すいません職員に係る人件費、こちらを超勤ということで替えさせていただいております。次は、110ページ、この尾びれのモニュメントの修繕ということやったんですけど、これ実際、いつ塗ったかは分からないんですが、ただ、これができたのが平成6年度となってまして、ですので相当年月置いてたのかなと思います。ですので、平成6年度になってました。次が、

捕鯨船の第一京丸なんですけども、これ、実際確か令和元年度に2,400万円ちょっとかけて塗装やったんですけども、これ確かにこれを見積り出すときにいろんなバージョン考えました。前回と同じような金額できないかなと思うと、バケット車で下から塗るとかいう作業になってしまう、これで大体2,000万円ぐらいかかってしまいます。これだったら、恐らくもう数年ですぐ駄目になってしまうと、何とかもたすにはどうしたらいいかということで、足場をちゃんと組んで塗装の成分もすごくさびにくいものも選んで、足場も上までがっちり組んで、何とかやろうかということで、後ほころんだ部分、特に手すりなんかも落ちてたりするので、そこの再生とかもいったんです。結局、最終的にはこれだっというのが4,800万円というふうになったんです。安いのが2,000万円でもできるんですけど、これやったら全然もたないというふうに判断いたしました。後、次の芝刈機なんですけども、今2台ありまして1台が故障してまして、もう1台もちょっとエンジン不調というのがありまして、この前ある団体から草を刈るのに除草剤やめてくれということで、なるべく手で刈ってるんですけども、例えば平見の坂なんかをこの機械でこうはわしたりすると、割とうまいこといったりするんで、創意工夫しながらやるために1台ここで入れておきたいなという思いであげさせていただいております。後、吉野熊野国立の負担金の増なんですけど、これ人件費で社会保険料も今年は各担当部署で取るというふうになってますので、その部分が余計に増えた格好になってます。自動体外式除細動器、13節にあったかと思うんですけど、記載の方法が前は細かく書いてたんですけど、これ実際は1台はイベント用ということで、どこへでも持っていけるように組もうかなと思ったんです。結局、その記載する場所というのがなくて、イベントで書けばいいのかあれなんですけど、駅とイベントということで、金額は一緒なんですけども、ちょっとすいません表記のほうがそんな感じになってしまいました。後、ホームページはサイバーリンクスさんへ委託しております。それから最後、111ページのエリアサイクルツーリズムというものなんですけども、これは自転車を用いて紀南を活性化するというところ、これが今入っている団体がすさみ町、上富田町、白浜町、古座川町とかがやってるんですけども、これを自転車の輪を広げて観光誘致につなげたいということで、一応5万円で、後負担はないんですかと聞くと負担もないということやったんで、やっぱり自転車を使って活性化というのも、やはり一つの観光の手段になるかなということで、6年度から入らせていただきたいと思ひまして計上しております。花火大会、昨年度、一応議論いろいろあったかと思うんですけども、町民の方に1,000円ずつ寄附をお願いしてやる部分、さらに商工会を通じて、またその商工の方に寄附をお願いする部分と、それで成り立ってた部分があります。予算的には大体600万円ぐらいを見込んでやっておったんですけども、次の年、新たな花火を考えるということで、規模を縮小した形で恐らくやることになると思います。ですので、寄附のほうも町民さんには求めませんし、商工業者の人

にも求めません。ただ、太地町に協力してくれる団体の方、そこの方の支えで運営できればなということで考えております。ですので、ここにはあがってないんですが、実際は規模縮小ですけどやっていくということでもよろしくをお願いします。

○議長（福田忠由君）

漁野副町長。

○副町長（漁野洋伸君）

特段規模縮小という話はある程度出てないんですけども、今回、予算計上してないんですけども、今考えてるのは、漁業協同組合と水産と公社によって出せないかなというような形で考えております。そこで新たに実行委員会というのか、名称はちょっと分かりませんが、その打ち上げに係る協議体、協議会的なもの、協議会といいますか、会をつくりまして、そこで練ってやりたいなという形で考えている。そこへ役場の職員ノウハウを持ってますものですから、そこへ行ってお手伝いしながら打ち上げたいと考えております。今まで3年かな、4年、コロナの関係でとまってたんですけども、今年は何とかするという方向で話を進めております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

今、花火の話が出たんでちょっとお願いしたいんですけども、規模縮小する、しないのお話なんですけど、せっかく、花火大会というのは太地にとって一番のイベントのような気がします。だから、町内外の方でも、町外の方でも相当太地の花火は見やすいということで見に来ております。だから、なるべくその規模を縮小せずに、従来どおりの花火を打ち上げてほしい。それで、費用的に集まらなかったら行政のほうからも観光イベントの助成ということで考えていただきたいと思うんですけど、どうですか。

○議長（福田忠由君）

漁野副町長。

○副町長（漁野洋伸君）

ありがとうございます。そのような形で考えております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

サイバーリンクス、さっきも名前出てきたですよ。これ、社長誰ですか。これどういうふうに見積りとってんのか。博物館のやつがね、何百万やったかな、あれもサイバーリンクスですか、そのとき質問しますけど。これは独占したあるのかなと思うんですけど、博物館は

どこへするか分からないですけど、見積りはどういうふう、入札はどういう入札をしているのかちょっと聞かせてください。それから、花火大会実行委員会というのはありますよね。こういうやり方をするというのはどこで決まったんですか。実行委員会で決まったんですか、ちょっとその辺聞かせてください。実行委員会のメンバーもちょっと教えてほしい。

○議長（福田忠由君）

三軒町長。

○町長（三軒一高君）

花火についてはですね、これまで商工会、または区長会、また町の職員が業者を回って、また町民からも集めていたと。私は、これについて非常に疑問を持っていたんで、業者と癒着するなど我々が職員に指導しながら、また、いろんなところへ回っていった。また、その中で私にも直接電話があったんですけど、非常に苦情があったと、そういうことで、我々は基本的にできるだけ町民からお金を集めるというのをやめようじゃないかということで、今神社のこととかやっていますが、今回、花火についても、ここ何年間打ち上げておらなくて、聞かれたときにいろいろ検討しておると答えたと思うんですが、今回、我々がまず決めて、町の方針を、それを実行委員会に伝えるということにしております。またそれで、必要だったら新しく、今回商工会とか、区長会が抜けても新しい組織でできるように、また、その人たちに商工会の皆さんや、区長会の皆さんに迷惑のかからないように、お手数をかけないように実行していきたいと、そういうふう考えて町で決断いたしました。そして、その中で、実行委員会には、その旨報告するつもりであります。以上です。

○議長（福田忠由君）

山下産業建設課長。

○産業建設課長（山下真一君）

サイバーリンクスさんの話出ましたけど、実際、最初の立ち上げのときに、もうノウハウがあるということで継続的にやっておりました。ですので、もう随契でそのままノウハウを生かして、例えば相談できるような状況でやっておりますので、例えば機器の更新であったら大体同業者が状況は分かってるんで継続するのと同じことで、サイバーリンクスさんについても、そのノウハウを生かしつつ、継続、契約ということでやっております。1か月、大体2万2,000円ということで見積りいただいております、それを継続してる。社長につきまして、今ごめんなさい、ちょっと資料を持ってきているところでございます。実行委員会、実は花火の実行委員会、例えば規約というのは実はないみたいなんです。これ実行委員会というのは、やるときにそこの集めるということで、慣例的に商工会の方と区長会から集めて、交互に代表というんですか、交互にやり替えてきたような歴史があるそうです。ですので、この前の実行委員会であれば、区長会から8名の方をお願いしたという次第で、商

工会についても、会長以下5名の方お願いしたということで、一応、実行委員会の規約に基づかずに、行うときに集まっていたいで相談ということで、やるときに集まるというようなイメージでやってるそうです。以上です。

○議長（福田忠由君）

1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

町が決めたということは、町長が決めたということやよね。やっぱり僕はね、町民から寄附とつてもええと思いますよ。町民が手伝うても、やっぱり楽しみやないですか。僕はそう思うんやけどな。花火大会の打ち上げの、花火の打ち上げる前の次は太地町民のスターメインですとかいうのがなくなってくるということですね。漁協提供とか、公社提供とか水産提供とかいうことになってるのかなと思うんですが、どういう、僕は1,000円ぐらいやったら町民から集めてやったらええと思うし、今までどおりでええやないかなと僕は思うんやけど、でも町長がそうやって指示したと、もう、この実行委員会も今ある実行委員会も、もう解散になるということ Understandingしておいたらよろしいですか。やっぱり、今までどおり僕はやるべきだと思うし、癒着という、癒着というのはちょっと言い過ぎやなと思うんですけど、やっぱり町民の楽しみというかな、手伝うのも楽しみやと思うんで、ほとんど役場の人間やと思うんやけど、でも、そうやって町長が決めたということで、進めていくということで理解しといていいですか。僕は、寄附を集めてやったらええと思いますけど、その辺ちょっとお願いします。

○議長（福田忠由君）

三軒町長。

○町長（三軒一高君）

私自身も言われたことですが、あなたたちは毎月、毎月、給料をもらっているけども、我々が働いてない人が500円を使う、100円を使う、そのえらさがあなたには分かってんのかという、ある町民から言われました。私は衝撃を受けました。私自身は、このまちが年金で暮らせるようなまちをつくりたい。そのためには、議論はありますが、できるだけ町民からお金を集めないようなまちをつくってみたいなど。だから、漁協もそう、水産もそういろんなところで公社もそう、いろんなところで立ち上げて健全な運営にして、そこでなるべくいろんなことをやったらいいんじゃないかと、別に癒着が特別どうこうと言ってるんじゃないんです。区長さんなんか1,000円集めに行つて、散々嫌な目にあうことが多いと聞いてます。また、役場の職員でも業者の方のところに行つて、仕事もくれないのに何でそんなことお前たちが言ってくるんだと言つて、非常につらい思いをしたという職員の話も聞いております。私たちは、この花火を小さく縮小する気はありません。さらに、私自身は

立派な花火にしようと思ってるんですよ。海野さんが言われるように、町が知恵を絞ったらいいんで、できるだけ住民の、大方年金生活者が多いわけですね。その中で、だからバスも無料化したりいろんなことをやってる、総合的なことでやってるんで、花火が楽しいから金を集めてもいいじゃないかという人も確かに、婦人の方でもおられました。1,000円出すのが、寄附するのが、そのぐらい出せないのかと言った人もおりますが、どちらかと言ったらそういう困ってね、100円出す、200円出すということが、だから300円の食事でも、300円で行きたくないけど、あそこで助かるんだという人もおるわけですよ、毎日食べに行ってる人でも。そういう中で、私はいろんな議論があつたんですけど決断をして、私は今回、今回の花火を立派な花火を打ち上げて、町民の皆さんからお金を取らないで、漁協の役員の人にもお願いしたんですけど、漁協も水産も漁が悪いときはまた考えた方がいいと思うんですけど、何も町でできないことはないと思うんですよ。だけど、できるだけ公社や漁協や水産で、できないものかなと今回協力を依頼して、今回そのような形で打ち上げさせてもらうということであります。私、認識が間違いかも分かりませんが、今の実行委員会というのは、町が決めて予算化して実行するときにそういう協力依頼をお願いして実行委員会は立ち上がってやってたという、私はそういう認識でありましたので、今回、区長会も区長会のときに多分話が出るんでしょうけど、新しい組織でやるということにしております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ないですか。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

110ページの、もう一度捕鯨船の改修、これ前年度や何かに設計監理の委託料というの入ってたんですかね、ちょっと私見落としてるのかもしれないですけど、これ、なぜ必要かという、実はペンキというのは松竹梅、もうピンキリなんです。例えば2年保証しか出さないメーカー、5年保証してくれるところ、一番長いフッ素系だったら10年保証してくれるんですね。そうすると、同じお金使っても、2年目でまた補修しなきゃいけないのか、10年は補修しなくてもいいんだったら、インシヤルコストをやっぱりきちっと精査すればですね、高いほうを使ったほうが安上がりだってこともあり得ると思います。特にこういう海岸沿いは。先ほど、解体のときに私はもう本当にすごいな、立派だなと思ったのは、解体の監理の監が、竹冠の管じゃなくて皿監になってましたよね。皿監ということは、実際の施工会社とは別に第三者な立場で町民に代わって適正に監理をしてくれる、そう読み取ったんです。この特にペンキ仕上げは、もう本当に全然違う。例えばサビ落とし、1種、2種、3種、ケレンとあるんですけど、1種と3種ではもう全然値段が違います。もちも違います。その辺をやっぱり役場の管理に代わって、やっぱりプロをお願いするほうが私はいんじゃない

かと思います。恐らくこの工事費の中から捻出はできるんじゃないかなと思います。その辺のまた意見を聞かせてください。それから、111ページの説明の下から3行目にある南紀エリアサイクルツーリズム協議会負担金、これ実は昨年、那智勝浦町でシンポジウムがあって私参加いたしました。そのとき県がなぜこれに力を入れてるかというのを聞いて、なるほどと思ったんですけど、熊野古道を中辺路だとか伊勢路だとかいっぱいありますけど、大辺路の観光客が一番少ないんだそうですよ、統計取ったら。それで、白浜空港が相当活性化してきているので、その人たちを大辺路に呼び込もうというのが県の思惑のようです。これには、もうぜひ太地も積極的に参加すべきだと思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（福田忠由君）

山下産業建設課長。

○産業建設課長（山下真一君）

まず、捕鯨船のほうは、前年度委託料のほうは計上しておりませんで、今回この工事費、技術の者をお願いしたところこれでいけると、管理のほうもこの中でいけるんじゃないかということで、とらなくてもいいという判断でした。内容なんですけど、その仕上げやっぱりフッ素の見積りでやります。フッ素でかつ3種ケレンでやります。金額が高くなったということでございます。また自転車のほうにつきましては、勝浦のほうも多分6年度から参加、新宮市もそうじゃないかなと思うんです。このつながりがまたできていけば、また積極的にええほうに向かうのかなというふうに思うんですけども。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほか質疑ないですか。漁野さん、さっきの漁野さんの答弁漏れあるんですけど。脊古産業建設副課長。

○産業建設課副課長（脊古 景君）

サイバーリンクスの社長のお名前なんですけども、村上恒夫様となっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほか質疑ないですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

商工費について終わります。土木費について行います。112ページから119ページまでです。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

113ページの使用料及び賃借料のところ、説明の下から2番目に入札参加システム利用料というのは、これは県が行っている電子入札のことなんですか。それから、115ペ

ージ、12節、委託料の平見地区排水関係調査業務委託料、私、議員になって以来、平見地区の排水の計画を早急に立てるべきだというふうに提案してまいりましたが、今回はどういう調査をする予定なんでしょうか。例えば、私が提案した遊水池、そういったものも計画の中に入ってくるのか、それから東京都と神奈川県は十数年前に雨量の前提、設計の前提で今まで50年に一度起きるような雨に対して耐えられる排水溝となっていたんですが、それを仕様を見直して、100年に一度起こるかもしれない雨に耐えられるようにということで、今工事が進んでおります。今回、そういった前提も見直すの、予想雨量の前提も見直すのかどうかですね。その辺分かる範囲で教えてください。

○議長（福田忠由君）

井上産業建設課主査。

○産業建設課主査（井上正哉君）

113ページをお願いいたします。入札参加システム利用料なんですけども、こちら太地町の工事等の入札参加資格申請を行うものを以前、紙ベースで行っていたんですけど、そちらをインターネットで申請できるようなシステム、そういった利用となっております、県の電子入札の関係ではありません。続きまして、115ページの12節、平見地区排水関係調査業務委託料なんですけども、こちら令和4年度から本年度、来年度、3か年かけて平見地区全域の排水関係の調査を行わせていただいているものであります。平見地区においては、排水の系統の調査というんですか、台帳等ありませんで、そちらのまずは排水施設の台帳整備、またそれに断面等が雨量に合ってるかという、そういった検討をさせていただいております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

113ページの入札参加システム利用料なんですけど、申請が紙ベースからインターネットに変わるというんです、今まで何回か漁野議員から指摘がありますが、予定価格と最低価格と1円単位までぴったしの入札が何度も行われて、疑義がこの議会でも疑問に、質問がありました。今回のこの紙ベースからインターネット申請にすることによって、その辺のところの改善というのは期待できるんですか。

○議長（福田忠由君）

井上産業建設課主査。

○産業建設課主査（井上正哉君）

すいません、ちょっと説明のほうが不足してたかもしれません。今回のシステムが、太地町に工事等物品とか、役務とか、そういったことを太地町から入札とか受ける際の入札参加

資格申請を申し込む申請のシステムの利用料になっておりまして、今まで業者さんとかが、ファイリングして、うちは土木工事に、建設工事に入札参加を申請しますということで、そういったことを紙ベースでやっておったんですけども、そちらをインターネットで申請できるというような内容にさせていただいておりまして、なのでちょっとそういったもの、入札自体の予定価格とか最低制限価格、そちらに直接関与するものではないと考えております。以上です。

○議長（福田忠由君）

2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

そうするとあれですか、例えばどここの溝工事やりますというときに、どっかをクリックすると会社名だとか、そういったことがインターネット上で申請ができるということですね。そうすると、札入れに関してはもう全く今までどおり紙ベースで集まってきてやるということですか。

○議長（福田忠由君）

井上産業建設課主査。

○産業建設課主査（井上正哉君）

入札自体は基本的には郵便競争入札を太地町のほうにとっておりまして、紙ベースで行う予定です。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

115ページの道路維持費、道路改良費、目があるんですけども、町内歩いてますと、傷んだ道路があるなという感じがします。このように予算に計上するときには、町内をくまなく歩いて、この道路が傷んでるなということで計上してるのかですね。誰かにこの道傷んでるから直してよと言われてやってるのかですね、そこら辺を教えていただきたいと思います。次に118ページなんですけれども、今回、この予算、全体的な予算なんですけれども、いろいろ要望したことが取り入れられてる予算だと私は思っております。その中で、12の委託料、公衆便所管理委託料、民生のときにはもう聞かなかったんですけども、これをどのようにして周知、またやっていくのかなということをお聞きしたいと思います。もう一つ、太地公園日除け設置工事、これも要望して計上していただいているんですけども、これもどのような日除けになるのかということをお聞きしたいと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

井上産業建設課主査。

○産業建設課主査（井上正哉君）

115ページの道路維持、道路改良についてなんですけども、維持修繕の部類に関しましては、ちょっとくまなくというよりは道路清掃員とか、また職員が出たときに道路の舗装が傷んでたりしたところは、自分らで、職員で直せるところはその都度直しておるんですけども、ちょっとその中では難しいと判断したときには工事発注させていただいたり、こちらの需用費の中の修理費であったりだとか、道路維持費の工事請負費の道路及び側溝補修工事等で計上させていただいております。今回のあがっている事業につきましては、常渡線街路樹剪定工事なので、何年かに1回やらせていただいている、常渡線の捕鯨船前の高木、ワシントンヤシあちらの剪定とかなってます。定期的にやってる保守維持でもあります。計画を持って、やはり常渡の道路改良費で常渡の舗装修繕工事、こちら町の方で舗装修繕計画等を持っておりますので、そちらと計画に合わせて事業している状態であります。後は要望、町民さんからとか、議員さんから要望あったところ、こちらが目についていないところに関して予算計上しているところであります。続きまして、118ページの委託料なんですけども、こちら昨日、私そちらの方で委託料の方、太地公園と第2暖海公園、2か所委託すると申したんですけど、ちょっと訂正させていただきたく、実際にはこちらの方では、暖海公園の公衆トイレの清掃を委託しようと考えております。こちらの方4月に一応公募をさせていただきまして、5月から一般の町民さんに管理というか、清掃をお願いしようと考えております。続きまして、14節の工事請負費の太地公園の日除け設置工事なんですけども、こちら、日除けということで、よく町中でもパーゴラとか、ちょっと雨が、日差しがちょっと入るけども影になるというような、ちょっと風の抜けも考えた、そういったものを今のところ検討しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

説明のほうはよく分かったんですけど、道路やっぱり平見のほうでも、町道で相当悪いところもあります。だから、そこら辺ももう一度見ていただいて、悪いところがあれば全体的な舗装をやっていただくというような形でお願いしときたいなというように思います。また、トイレ清掃、高齢者対策ということで私提案させていただいております。今回は民生委員のほうの清水の墓やったですかね、それとこと2か所ということでお聞きしてるんですけども、これが希望者が多ければどんどん、どんどん働く場所の提供ということで広げていただきたいなというように思ってます。それについて、回答をちょっといただきたいなと思います。

○議長（福田忠由君）

山下産業建設課長。

○産業建設課長（山下真一君）

今回の募集は2か所ということで、もし例えば、複数の方が来られれば、それで月で割ったり、上手いことやるんですけど、さらに、翌年度、平見公園とかに増やして、それを受け皿にできないかなというのが今の希望でございます。以上です。

○議長（福田忠由君）

井上産業建設課主査。

○産業建設課主査（井上正哉君）

議員さんおっしゃられたように、道路のほうもそのように対応させていただきたいと思えます。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

115ページの委託料の下の森浦地区道路設計業務委託料1,300万円、これについての説明をお願いします。それから、次のページの急傾斜地、これはこの小東の急傾斜事業のことでしょうか。小規模土砂対策事業というのもあるし、急傾斜対策事業というのがある、これ、場所はどこですか。sonだけお願いします。

○議長（福田忠由君）

井上産業建設課主査。

○産業建設課主査（井上正哉君）

115ページの委託料なんですけども、森浦地区道路設計業務委託料、こちらは森浦の汐入地区の地蔵院とかあります。そちら、国道から川向に河川の管理道あるんですけども、そちらは汐入地区からJR太地駅まで約500メートル、そちらのほう自動運転サービスの運行を見据えた町道整備ということで、今回予備設計と詳細設計を行うものであります。既存道路として、先ほど申しましたように河川管理道路がありますので、そちらを利用しながら県との協議が必要なんですけども、道路の計画を進めていきたいと思っております。続きまして、116ページの急傾斜保全事業費なんですけれども、こちら県事業負担金と小規模土砂災害対策事業と急傾斜対策事業2件あります。小規模土砂対策事業については、先ほど議員さんおっしゃられたように、小東地区の旧児玉邸の裏の法面の工事となっております。また、その下の急傾斜地対策事業のほうなんですけれども、こちら小学校の下のところの旧の清涼庵の上水施設というんですかね、そちらの裏山が令和5年襲来の台風7号で斜面がちよっと崩壊しまして、そちらの対策をしていただくものとなっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（福田忠由君）

土木費について終わります。消防費について行います。120ページから123ページまでです。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

救急出動、5年の実績をお願いします。それから、この救急課程研修委託料、これは2名分だと思うんですけども、これで修了者は何人になるんですか、役場全体で。消防団員数は聞いたよな128名。122ページの防毒マスクというんですか、これを購入する理由と、幾つ買うのかですね。それから、18節の消防救急デジタル無線協議会負担金、これが1,452万1,000円の増ですか、その説明をお願いします。救急資機材購入費ですか、762万3,000円、123ページの備品購入です。救急車両を購入するみたいですけども、これの入札方法ですね。以上です。

○議長（福田忠由君）

森本総務課副課長。

○総務課副課長（森本直樹君）

120ページをお願いします。はじめに、令和5年度の救急出動件数ですけども、231件となっております。令和5年1月から12月です。次の12節、委託料の救急課程の件ですけども、有資格者は26名、実働は今16名なんですけども、有資格は26名となっております。122ページをお願いします。防毒マスクの購入理由なんですけども、今、これまで持ってるやつが一つ経年劣化というところがありまして購入するんですけども、一応火災現場においてはやっぱりその有毒なガスであったり、一酸化炭素、こういったリスクがあるということで、身を守るためのマスクなんですけども、老朽化も含めた中で購入と、後個数ですけども、27個の購入を予定しております。その下、18節の消防救急デジタル無線、こちら、前年度よりも増額ということで、こちら前回27年あたりですかね、導入して、今回再整備するというところで、これはこのデジタル無線協議会というところが中心になって事業を行っていただくんですけども、応分の負担を行うというところであります。最後123ページの救急車両の入札方法ですけども、指名競争入札を想定しております。救急車両本体と、車内に搭載する資機材ということで、上の救急資機材購入費が車内に搭載する装備品となります。下が車両本体ですね。これをまとめて指名競争入札で行うという想定をしております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（福田忠由君）

消防費について終わります。教育費について行います。124ページから151ページまでです。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

まず、先ほども、午前中も質問させていただきましたが、132ページの空調機保守点検委託料45万円、これ小学校の部分なんですけれども、これも全部屋、清掃年2回、冬と夏としていただけるのか。そして138ページ、これ中学校費だと思うんですけれども、19万円ということで、小学校と中学校と教室違うと思うんですけれども、ちょっと極端に少ないかなと、これで年2回、10万円で全部屋できるのかなというように思うんですけど、そこら辺いかがですか。それと、146ページの備品購入費の中で、図書購入10万円、毎年あがってるんですけれども、この住民の方が図書室の本が少なくなってるというような話があります。実際、僕あんまり利用してないんで分からないんですけれども、以前よりも減ってるということなんです。そこら辺どうなってるのかなと。この10万円で、毎年本を補充してるのかどうか、そこら辺を聞きたいと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

漁野教育委員会次長。

○教育次長（漁野文俊君）

小学校と中学校の空調機の清掃については、これで全ての空調機がまかなえるということです。金額違うのは、やっぱり教室の数が違うということになってます。図書の購入費なんですけれども、私、次長になって10年くらい経つんですけども、その間に1回だけ廃棄処分やったことあったんです、もうボロボロになって、それ以外は購入して増えてる数のほうが多いかなというふうに考えます。スペースが限られてあるんで、以前、もう一つ予備の部屋に寄贈されたのを置いてあったんですけども、そちら館長室になったんで書庫のほうに移してあって、これ元々貸し出してなかったものなんで、その分が減ったというふうに感じられたのかも分かりません。以上です。

○議長（福田忠由君）

3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

できるだけ、図書なるべく増やしてあげていただきたいなというように思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありますか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

124ページの報酬、2目の報酬、学校運営協議会委員、これ委員名をお願いします。それと、125ページの医師等報償費、小児生活習慣病予防対策事業89万1,000円の説明をお願いします。それから、126ページの一番下、小・中学校学習用端末保守委託料これ、どこの端末を使っているのかちょっと聞いておきたいと思います。それと、小学校の令和6年度の1年から6年生の生徒数と合計をお願いします。それから、報酬で特別支援教育支援員3人分というのがあるんですけども、令和5年度は505万4,000円で、令和6年が757万2,000円で、1人当たり252万4,000円になつとるんですけども、令和5年度の1人分が、これ168万5,000円かな、83万9,000円もあがってるんですけど、ほかと比べてこのあがり方が異常なんやけど、これの説明をお願いします。それから、工事請負費の133ページの教室・職員室間相互連絡装置というのはどういう装置なのか、体育館の雨漏り改修工事、その上の教材ソフト使用料18万円、カラープリンターリース料が削除されているという理由をお願いします。それから、いつも聞いている134ページの社会見学と卒業遠足、令和6年度の予定ですね。今度は中学校で、1、2、3年生の人数と合計をお願いします。それから、137ページの上から4行目ですか、特別事業講師報償費、これ、バックネットをつくる必要あるんですか、もう野球部ないんでしょう。僕は要らないと思うんですけど、どっかのチームが何かやつとるんですか。もう少年野球もないし、これちょっと説明をお願いします。140ページの職場体験損害保険料について、職場体験の令和5年の実績をお願いします。その下の社会見学バス、卒業遠足、令和6年の予定、卓球台なんですけど、今卓球部はあるんですか。あるかどうか答弁してください。それから、またこれ、142ページが一番下の映画フィルム借上料、令和5年何を上映したのか、もういつも聞いてるめぐみは上映したのかですね。それから144ページの町歴史資料調査委員旅費と、その下の資料室調査旅費、令和5年はどこへ行ったのかですね。それから、145ページの13節のバス借上料。それから146ページの文化財保護審査委員は、令和5年はどこ行ったのかですね。それから、147ページの石垣記念館の入館者数、令和5年の入館者数ですね。もうこれ、石垣記念館も何年も行ったことないんですけども、今、管理人というのは誰がやってるんですか、誰と誰がやってるんですか、ちょっと教えてください。151ページのスポーツ振興児童生徒派遣費、令和5年実績があればお願いします。以上です。

○議長（福田忠由君）

宇佐川教育長。

○教育長（宇佐川彰男君）

私のほうからは、学校運営協議会の委員、名前を言うんですね。岡本研社会福祉協議会会

長、関一重児童民生委員、茶道教室の指導者、江崎隆司公民館長、長尾翔子学童保育指導員、中江環くじらの博物館学芸員、和田千明読み聞かせボランティアの指導員、以上です。この6名です。

○議長（福田忠由君）

漁野教育委員会次長。

○教育次長（漁野文俊君）

125ページの報償費、小児生活習慣病なんですけれども、新型コロナということで数年やめてました。令和5年度補正予算をいただきまして、それで実施しました。先生方とお話して、令和6年度できそうだねということなんで、当初とらせてもらってます。126ページの小学校、中学校の端末なんですけれども、これも実は新宮・東牟婁郡で共有できるように共同で購入してます。そのときに、言うてええか分かんのですけど中国製ちょっと危ないか分かんということで、中国製使わないようにしようということで、これは台湾製のもの使ってます。小学校の児童数なんですけれども、1年生が20名、2年生が18名、3年生が19名、4年生が15名、5年生、18名、6年生、14名の合計104名となっております。これは、6年3月現在の人数になってます。129ページなんですけれども、特別支援員さんの単価が上がってるとということなんですけど、これ人事異動によって、ちょっと別の部署から異動されたので、その方がおられたということでご理解ください。133ページの教材ソフトなんですけれども、こちらは端末で使う分の中からパッケージ以外の分のソフトになってます。当初で使ってた端末とパッケージ以外のやつで教材ソフトを使いたいということでこちらを利用させてもらってます。教室職員室間の連絡装置なんですけども、インターホン、電話式のインターホンで連絡取れるようにということで、何か異変があったりしたら連絡取りやすいようにするために設置をお願いするものです。体育館の雨漏りなんですけれども、昨日の暴風雨でもちょっと雨漏りしたということで、横の壁面のガラス窓の辺りから漏れてるんじゃないかということで、そっちの改修をさせていただきたいということです。カラープリンターのリース料がないのは、もうリース切れということで発生してない。134ページのバスの利用なんですけれども、一応、令和6年度も令和5年度に引き続き郡市音楽祭で社会見学という形で新宮市へ行くのと、卒業遠足はアドベンチャーワールド行く予定になってます。中学校の生徒数です。予測なんですけれども、3年生が16名で2年生が3名で、1年生が14名の予定になってます。特別支援学級が2人、137ページの特別事業なんですけれども、思春期講座みたいな感じでやらせてもらってます。工事請負費のバックネットを使っているのかということなんですけれども、毎週日曜日に寿野球さんが使ってるのと、スポ小の野球大会の予選とか交流大会で中学校を使うこともあるので整備させてください。職場体験なんですけれども、コロナ禍ということで官公庁を中心に役場とくじら館に

行ってます。中学校の社会見学なんですけれども、本年度と同様に郡市音楽祭で新宮市へ、卒業遠足は長島スパランドを予定してます。卓球部は活動中でございます。以上です。

○議長（福田忠由君）

櫻井教育委員会主幹。

○教育委員会主幹（櫻井敬人君）

私のほうからは、144ページをご覧ください。歴史資料室のほうでは、6月に千葉県幕張市にあります神田外語大学で開催された日本移民学会のほうにまいりました。それから、第2回和歌山県人会世界大会というのが開催されましたので、それに10月にまいりました。それから、それに関連するシンポジウムが県立近代美術館で開催されて、それにまいりました。主なところはそこです。そして146ページ、文化財保護審議会のほうで視察は、今年度も見送りました。また来年度は、ぜひ行こうということで話し合っております。147ページ、石垣記念館のほうですけれども、まず、2月末現在で876名の入館がありました。そして、今、管理人さんは2人いらっしゃいまして、泉真子さんと向井夕紀子さん、2名です。以上です。

○議長（福田忠由君）

漁野教育委員会次長。

○教育次長（漁野文俊君）

142ページの映画、何をということなんですけれども、夏休み映画の会で子供向けに開催して、ちょっと題名また後で調べて報告させていただきます。派遣費があったのかということなんですけれども、151ページの中学校の軟式テニス部がちょっと強かったんで、県大会とかに派遣しております。めぐみは上映していません。以上です。すいません、公民館のバスなんですけれども、和歌山市、和歌山城と県立美術館等に遠足で行ってます。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほか質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

132ページの自家用電気工作物保安管理業務委託料（太陽光発電）というのがあるんですけど、その下に太陽光パネル保守点検委託料というのがあるんで、これ同じもんやないのかなと思うんですけど、どんなんですか。それと、その下の校務支援システム利用料44万9,000円、これ質問忘れたんでお願いします。それから、特別事業講師報償費というのは、これLGBTは関係ないんですか。そして、何でもめぐみを上映せんのかって、こんなひどい国があるんやって、こういう不幸な人間がおるんやということを何で知らさんのかなと思うんですけど、その辺の考え方をちょっと聞かせてください。

○議長（福田忠由君）

宇佐川教育長。

○教育長（宇佐川彰男君）

学校の判断に任せております。

○議長（福田忠由君）

漁野教育委員会次長。

○教育次長（漁野文俊君）

太陽光パネルなんですけれども、受光するパネルと後発電に使う機械のほうと分かれております。公務支援システムなんですけれども、担任の先生が児童の成績とか出席欠席などデータを入力します。それが集積されて通知表ができたりするシステムになってまして、これ新宮市とか那智勝浦町も学校で使ってるんで、そちらから来た先生が使い勝手がよかったのでぜひ導入してくださいということで導入する予定です。LGBTは、範囲が広いんで、これまでに行ったのは、助産師さんによる母子のお母さんと子供の教育というところを中心にやっていますので、来年度もそれをやるという予定です。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

教育費について終わります。公債費について行います。152ページです。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

利子、令和5年も114で、今年も114件ということで、令和3年から令和4年にかけては利息が86万8,000円の減、利息が減ということでびっくりしたんですけども、令和4年から令和5年が363万円の増と、今度は914万円の増となっておりますけど、今後の予想としてはどんなんですか、今後も増える予定ですか。利息は、今利息というのはすごい安いやないですか。利息は利子、利子は関係ないんか。でも何してもずっとこれ横ばいぐらいやったんですよ。これが急に増え始めたという理由をちょっと聞かせておいてください。

○議長（福田忠由君）

執行会計管理者。

○会計管理者（執行貴弘君）

ここ一、二年のところで急激に増えた利息といいますのは、国際鯨類施設にかかわる借入れの額が元本の額が多いので、その分まだ元金の償還は始まってないんですが、利息の部分はありますので、その分が借入れの金額が多いため増えてきたのが理由です。借入れも、条件固定で、ほとんどが固定、固定が駄目な場合はやむを得ないですが、固定がいける場合は全て固定で借りておりますので、今まで借りた分が今後上がることはありません。ただ、新

しく借り入れるものについては、徐々に若干率は上がってきておりますので、その辺で過去とはちょっと変わってくる可能性もあります。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

公債費について終わります。予備費について行います。152ページです。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

予備費について終わります。次に総括質疑を行います。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

まず、これは議案外の資料の中でですけれども、154ページの一般職、総括の人件費なんですけれども、これ2人増、前年度と本年度で2人増で、6,031万1,000円という増になってます。恐らくこれは会計任用の方たちの給料の上昇及び社会保険から、恐らく共済に変わったものなのかなとは思うんですけれども、そこら辺どうなんでしょう。その次の155ページ、同じくこれ3名で3,554万3,000円、合計ですよ、合計上がってるわけですよ。そうすると、人数のわりに約1億近く、9,500万円ぐらいですかね上がってるということになると思うんです。そこら辺、なぜこういうことになっているのか説明していただきたいと思います。

○議長（福田忠由君）

執行会計管理者。

○会計管理者（執行貴弘君）

まず、154ページ、こちらの合計というのが総括、次のページの155ページ、会計年度任用職員以外の職員ということで一般職の職員です。続いて、その次の156ページに会計年度任用職員の数字が出ておりまして、154ページはそれの合計になります。ですので、合計6,000万円上昇ということになっております。その上昇理由としては、

（5番 久原拓美君 着席）

157ページに記載しておりますような理由が主なものになります。157ページです。これ去年の当初との違いになりますので、昨年 of 年末、人事院勧告によって上昇している部分とか、後は1月に職員の昇給がありますので、その分、それと職員手当、会計年度任用職員の期末勤勉手当が生じた分とかそういうことに、そういうもろもろ足して6,000万円が上昇、一応当初予算計上額としては上昇しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

全体的に6,000万円ということになると思うんですね。やはり、一番経費がかかるのが、もうこれは経常経費になってしまうんで、人件費に占める割合が歳出ではどんどん、どんどん大きくなっていくと思うんですね。そこら辺で、やはり限られた人数の中で、定員管理をきちっとやっていただいて、今後の財政運営に努めていただきたいなと思うんですけども、いかがですか。

○議長（福田忠由君）

執行会計管理者。

○会計管理者（執行貴弘君）

その辺こちらにも気にしながら、勉強しながら、迷いながらやっていきたいと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。7番、三原君。

○7番（三原勝利君）

行政のデジタル化を含め、個人のいろんなデータもデジタル化して、どんどんこの行政の効率化は図られているわけですが、個人の関するデジタル化ということで、マイナンバーカード、これが非常に国が率先して進めたいということで、総理も今年11月いっぱい、大体全国民がマイナンバーカードを持つと、要するにそれに基づいていろんなデータを動かしていくというような考え方があるんですけど、現状として太地町では今、マイナンバーカードをどのぐらい発行されてるんですか。それについて伺ってきたいと思います。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

交付枚数なんですけれども、2,116枚交付しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

7番、三原君。

○7番（三原勝利君）

今、ご回答いただいた分で、どのぐらいの比率になってるんですか。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

こちらの交付枚数の割合なんですけれども、75%になります。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。7番、三原君。

○7番（三原勝利君）

かなりデジタル化が進んでいると思うんですけども、この個人のマイナンバーカードにどういものが挿入されるかということは議論の的になっておりまして、最終的には本人の病歴から始まって財産の状況とか、そういったもの全てがこのマイナンバーカードに入ると、そのカードを利用して国や行政はいろんなものを動かしていくというような経緯があるんですけども、私はデジタル化というのはあまり得意じゃないんで、内容的にも十分分かりません。人間的には全くアナログ人間だと思うんですけども、そういったものが進められていくということによって、各行政には国や県からいろんな指導が来てると思うんですよ。それを進めるために。そういった指導については、どういう形が取られているか伺っておきたいと思います。

○議長（福田忠由君）

執行会計管理者。

○会計管理者（執行貴弘君）

デジタル化が進めていく上で、国、県からいろいろな通知等は来ているんですが、直接、こういう方にはこういうふうに指導してくださいとか、そういう直接的な表現の文章は今のところは見当たらないです。ただ、やはり個人情報を取り扱いますので、その点については、マイナンバー制度が設立した当初から、事務単位で管理をして、ほかの事務には回さない、その事務にしか使わないということで、厳しく制度は設計されております。その辺については、皆さん不安な面は多々あると思うんですが、国がつくる制度としては個人情報に関してすごく敏感になって配慮された制度設計になっております。個々の対応につきましては、このように指導してくださいというよりは、各々の市町村、一番住民さんの窓口になるところになりまして、住民さんの対応は逆に言えば国、県よりも長けているはずですよ。その市町村のほうに寄り添うような形でおまかせしますということで、任されていると考えております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

ちょっと質問を忘れたので、この諸収入のところでちょっと質問忘れたので、37ページの写真集の売却収入、これ実績と写真集の残、それと太地町紹介DVDの売上枚数の実績と残、それから、レンタサイクル利用料の実績をお願いします。それから、次のページの38ページの白浜空港リムジンバスチケット販売手数料1,000円についての説明と、それか

ら、太陽寮の電気使用料相当額という36万円の説明をお願いします。それと、やっぱり50ページの駐車場代金、太地町はもう町長は全部ただやからとかいうて言うてるんですけど、やっぱりこれは僕はお金を取るべきだと思うんですよ。何か社会主義みたいな町になってきたあると思うんですけども、それがええんかなと思って、やっぱり、ほかの町民がとめたらお金をもらうようにしたほうが僕はええと思うんで、その辺の考えをもう1回聞いておきたいと思います。どこへ行ってもね、ただの駐車場はうれしいやろうけど、どこへ行ってもただの駐車場はないですよ、白浜にしても、それから海南にしてもね、僕よう白浜とか海南、駅の駐車場をよく使うんですけども。それから、60ページ、これどっかで白馬村との交流40周年とかいうのを聞いたんですけども、これ1回、これは議会の話なんですけども、町長含めて表敬訪問ですか、1回ちょっと町長も含めて考えてほしいんですけども、1回も行った人もないと思うんで、その辺ちょっと町長の考え方をちょっと聞いておきたいと思います。それから、花火とさ、

(5番 久原拓美君 離席)

実行委員会の話なんやけど、説明聞くと町が決めて、それをもって実行委員会に集まってもうて、それを実行すんやという説明やったですね。そしたら町が何もかも決めてから、実行委員会を集めてこれせえ、あれせえとていうことで理解しておいていいんですか。それやったら、実行委員会の意味ないじゃないですか。だから、僕はもう実行委員会を開いて実行委員会で決めて、それでまちがそれにお金出すんかなとか、だから町民の考えが全然入っていないんじゃないかなと思うんですけど、その辺ちょっと考え方ちょっと聞かせておいてください。今の説明を聞いていたら、なんかこう

(5番 久原拓美君 着席)

上から目線みたいでさ、そんなんに感じたんだけど、それはちょっと説明をお願いします。

○議長(福田忠由君)

三軒町長。

○町長(三軒一高君)

まさか上から目線と言われるというのが初めてで、私は別名ガンジー三軒と言われて、町民に寄り添う、職員に寄り添うということをモットーにしております。漁野議員ベテランなんでそういうこと失礼なんですけど、私が決断して議会に提案するんです。決めるのは議会です。今回、予算が入ってないということで、それがおかしい、予算をとれっていう議員の大方の意見だったらとらないといけないと思っております。町長が独裁的に、議会が反対するのに通るはずはないんです。私自身は、よく町民の声を聞けとか、多くの町民に相談したのかという、漁野議員ご存じのように山下議員がよく言っていましたよね。私自身のとり方はね、議会議員が町民を代表してきてるんで、議会の意見が町民の大方の声だってそう私は思って

るんですよ。そうじゃなかったら、町民に各何か決めることに、各地区懇談会をして多数決をとってずっと決められないから、今の代表性の議員が選ばれてなってきたんでね。私自身は、この予算についても、私自身は決断して職員等を決めますけど、決断して決定するのは議会なんです。私たちが幾ら、いや町民からお金を集めないと言ったところで、議会がそうじゃないじゃないかと言ったら、そのとおりにしないといけない組織なんです。その辺、誤解のないようにしていただきたいなと思っております。そして私自身は、漁野議員が一番ご存じのように、私は勝浦の人やからお金を取ったりとか、太地やから要らんようにせえという考えは毛頭ありません。同じ国民で、同じ県人で、垣根を、福祉に垣根はないという元々の考えであります。また、遠くから来られて、この陸の孤島のようなところに来られて、せめてバスが無料だったり、駐車場が無料だったら喜ぶんじゃないかなと、印象的にもいいんじゃないかなと、それはまちがいろいろな工面をして便宜を図らうというのが行政だと思ってるんですよ。だから、私たちは何も自主財源が2割ちょっとのところで、お金をためられるはずはないんです。だから、国から交付税をもらってるのを有効に使いながら、財政バランスを崩さない範囲で住民サービスを徹底してやるというのが私の考えで、勝浦の人やから、下里の人やから、串本の人やからお金を取って、太地の人だけ無料にするという考えは毛頭ありません。だから、柵もそうしてるとおりです。駐車場についてもそのとおりです。だけど、議会の議員の皆さんがそうじゃないと、太地だけ無料にしてお金を取れと言ったら、そのようにしたらいいと思います。決定するのは議会です。私たちは提案するだけで、議会で決めていただいたらいいんで、そのように理解しておりますので、今回、私が決断して、議会に予算を出さなかったと、そのことについて決断したのかと言われたら、私が決断いたしました。だけど、議会にそのように説明して、議会の判断を仰いだ上で決定されるということでございます。以上です。

○議長（福田忠由君）

漁野教育委員会次長。

○教育次長（漁野文俊君）

37ページの写真集なんですけれども、令和5年は41冊売れておりまして、そして寄贈が5冊ありました。残数が278冊となっております。先ほど、142ページの映画の題名なんですけど、答弁漏れとなっております。夏休み映画の会は、アニメーションで長靴をはいたネコと九つの命というのを上映しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

三軒町長。

○町長（三軒一高君）

先ほど、漁野議員から提案ありました白馬村にも議員も一度行ったらどうだって、ぜひ行

っていただきたいんで、何かの機会に全員で行っていただければ。議会が決めることなんで、私はぜひ行ってもらいたいと思うんですが、これが議会が決定することなんで、私自身はぜひ全員で白馬村に行っていただきたいなという思いであります。もし、そういう議会が決めていただけるようになったら予算措置をしたらいいと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

山下産業建設課長。

○産業建設課長（山下真一君）

私のほうからは、雑入の37ページなんですけども、DVDの残数、これ、販売はゼロでした。残は444ということです。引き続き、レンタサイクルの利用料でございますが、内訳で既に言うと、太地駅が127、白鯨が55、これで182という合計になってございます。以上です。

○議長（福田忠由君）

和田総務課主査。

○総務課主査（和田正希君）

私のほうからは、38ページの白浜空港リムジンバスチケット販売手数料についてご説明いたします。こちらにつきましては、熊野御坊南海バスが新宮駅から白浜駅にかけてリムジンバスのほうを運行しております。こちらの令和元年の10月1日より運行しておりますが、こちらのチケット販売を今現在、太地駅のほうで行っております。チケット、太地駅のほうで販売しますと、販売手数料として金額に対して5%手数料収入となっております。大人1枚当たり2,600円となりますので、一件大人売ると130円の収入が入ってくる、そのような状況でございまして、令和元年度から令和5年度にかけて金額にすると3件で、1年間で390円という年もありましたら、令和5年度でいうと2月末現在で24件、2,990円というところですね、非常に凸凹しておりますので、予算措置としては1,000円のほうを計上しておる次第でございます。以上です。

○議長（福田忠由君）

執行会計管理者。

○会計管理者（執行貴弘君）

私のほうから38ページの太陽寮の電気量使用料相当額についてご説明させていただきます。太陽寮については、各部屋の貸出しをしております。ただ、各部屋ごとでのその電気料の契約ができずに、全体として契約して町のほうで一旦支払いをしておりますので、その各部屋の使用量に相当する分を負担していただいている入でございます。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

先ほどの町長の議会の議決が決定することだということではもう重々分かってるんですけど、町長が決定したことを、僕は実行委員会にかけたのかということを知りたいわけよ。だから、町民全員に聞けとかそんなじゃなしに、それを提案を持って実行委員会でこうしたいんやけどということでは了承を得たんやったら、僕はもう何も言わへんけど、もう話聞いたところによると、町が決定したことをもって実行委員会に集まってもらって、それをやらすんやというような答弁やったからね。だから、僕はおかしいんやないかと。それをもって、実行委員会もってって、こういうことでどうですかというて同意を得たんやったら僕は何も言わへんですよ。でも、そういう言い方やなかったと僕は思うんでね。だから、あえて上から目線やということを見せてもうたわけで、何も、そこへもってって、その委員の実行委員の意見を聞いて、こうしたんだって言うんやったら、僕は何も思わへんのやけど、そういう言い方やなかったもんで、そういう上から目線やっていう質問になったと思うんで、その辺もう1回ちょっと説明をお願いします。

○議長（福田忠由君）

三軒町長。

○町長（三軒一高君）

誤解があったら悪いんで言っときますけど、私自身が実行委員会というのはどういう組織なのか、規約があるのか、どういう過程でやってきたのかということを知りたいんですけど、役場の職員にずっと聞いておりました。だから、私の解釈はそういう今言った上から目線じゃなくて、そういう組織だっただけで役場が決めて花火をするって予算化したことについて協力してもらえませんかという、お金を集めてもらえませんか、片づけを手伝ってもらえませんか、その都度頼んでやってもらってる組織だっただけで、私自身はそう解釈したんですよ。だから、漁野さんのよくご存じの坂下会長を呼んで、呼んで来ていただいて、こういう事情で何とか商工会の皆さんも仕事の忙しい中お金を集めたりしてるんですけど、もうみんな区長会も高齢化になってきて、なかなかそうはいかんでこういうようなまちの考えですけど、そのようにご理解していただけないかと、また、会員の皆さんにそう話してもらえませんかということをお話をいたしました。また、区長会には和田新会長に、今回区長会で会があるんで報告してもらえませんかという、役場からも報告、説明をしてほしいと言ったら説明いたしますんで、そのようなことでしてもらえませんか、両会長にはそのようにお話をいたしました。そのように、この実行委員会が諮って、実行委員会が全部決めるんだって、予算は町が決めるんですよ、やる、やらんは。だけど、海野さんが言われたように、やっぱり1年間で楽しみにしていることをやってやってほしいというのは、それをかなえるのがまちの仕事で、コロナやからやれなかったけども、今回やろうと。だけど、この何年間やらんうちにいろんなことを考えた

らですね、もうこれお金をみんなに集めさせ、してもらうご足労願うよりも、我々が知恵を出して、立派な花火を上げようやないかと、そういう考えたことで、何も上から目線で決めたとか、相談なしに決めたとということではありませんので、区長会なり、商工会の皆さんになるべくご迷惑かけないように、町民の皆さんに喜ばれるように、こういう方法が一番いいんじゃないかなと思って、会長や両会長に相談して決めました。決定は議会なんで、その点はよろしく願いいたします。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

総括質疑を終わります。これをもって、令和6年度太地町一般会計予算の質疑を終わります。討論を行います。討論はありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

原案に反対いたします。僕の提案したタクシー券も入っとるんですけども、やっぱり駅前はまだ僕はもうこれ以上開発する必要もないと思っとるし、今回の駐車場の整備はやってほしいと思いますけども、それ以上もう要らんやないかと。ほかの市町村で駅前開発してる市町村あるのかなと思うんで、その花火のことについても、僕は従来どおりにやってほしいなという考えがあるんで、原案に反対いたします。

○議長（福田忠由君）

原案に賛成の討論を許可いたします。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

原案に賛成します。私、予算はやはり未来への投資も含まれるべきだと常々思っております。今回の案の中に、私が評価したいのは、平見台地の防災集団移転促進事業計画策定業務委託料3,100万円、それから、平見地区の排水関係調査業務委託料557万円、私のように被災地で本当にあの草の根運動してきた人間にとって、この防災集団移転促進事業というのは極めて難しい事業なんです。というのは、どうしてもこれは本当なら国土交通省は平時にこれを策定してほしいと言ってるんですが、やっぱり能登だとか、災害が起きたところへ行ってしまいます。それでも、実際には極めて難しい、それが平時で計上されたというのは、私はまず、和歌山県下ではちょっと記憶ないと思います。その二つの大きな未来への投資が計上された。もう一つ、非常に金額が小さいんですが、商工費の太地町創業支援事業補助金、わずか15万円なんですけど、この小さな一步の積み重ねがいつか太地のまちを変えていってくれるんじゃないか、そういうふうに期待して賛成いたします。

○議長（福田忠由君）

反対の討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（福田忠由君）

賛成の討論はありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

私もですね、財源的にちょっと不安な科目もあります。でも、担当の方から一応財源についても努力をしていくということと、今回、森岡議員も言ってましたように、新規の事業で、住民の健康、また住民への思いの予算が多々あったと思います。そういうことから、この予算に賛成させていただきたいと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（福田忠由君）

討論を終わります。異議がありますので、本件は挙手によって採決します。議案第24号、令和6年度太地町一般会計予算は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○議長（福田忠由君）

挙手多数です。したがって、議案第24号、令和6年度太地町一般会計予算は、原案のとおり可決されました。昨日審議いただきました、議案第14号、太地町営住宅管理条例の一部改正について、町長より答弁の訂正の申出があります。説明願います。脊古産業建設課副課長。

○産業建設課副課長（脊古 景君）

昨日審議いただきました、議案第14号、太地町営住宅管理条例の一部改正において、漁野議員からご質問いただきました、第57条第2項に規定する通知について、同じく所定の書類とはというご質問いただいたんですけども、こちら駐車場に関する規定でしたが、入居に関することとして答弁してしまいましたので、訂正させていただきます。第57条第2項に規定する通知については、入居決定通知と答弁しましたが、駐車場の使用決定通知の誤りでしたので訂正させていただきます。同じく所定の書類とは、契約書の課税証明等収入を証明するものと答弁させていただきましたが、誓約書と車検証の写しに訂正させていただきます。よろしく願います。

○議長（福田忠由君）

お諮りします。ただいまの申出のとおり訂正を許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（福田忠由君）

異議なしと認めます。したがって、町長より申出のとおり訂正することに決定いたしました。暫時休憩します。3時5分より再開します。

休憩 午後2時47分

再開 午後3時05分

○議長（福田忠由君）

再開します。

△日程第26 議案第25号

○議長（福田忠由君）

日程第26 議案第25号、令和6年度特別会計太地町国民健康保険事業予算を議題とします。事務局長に朗読させます。

（事務局長朗読）

○議長（福田忠由君）

説明を願います。下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

令和6年度特別会計太地町国民健康保険事業予算について説明をいたします。1ページをお願いいたします。第1条で、歳入歳出予算の総額を5億473万6,000円と定めております。前年度と比較いたしまして、829万円の減額となっております。減額の主な要因は、納付金や保険事業費の減額によるものです。7ページをお願いいたします。歳入です。一般被保険者国民健康保険料は前年度より645万4,000円の減額の6,798万1,000円を計上しております。8ページをお願いいたします。5款、1項、普通交付金は、前年度より240万円を減額した3億9,427万6,000円を計上しております。2節、特別交付金は、前年度より165万3,000円増額した980万円を計上しております。2項、1目、財政対策補助金は35万2,000円を計上しております。8款、1項、繰入金金は、前年度より113万2,000円減額した3,220万9,000円を計上しております。9ページ及び10ページでございますが、前年度と内容、計上金額ともに変わりございません。11ページをお願いいたします。歳出になりますが、1款、1項、総務管理費は365万2,000円の計上となっており、システムの管理費用が主なものとなります。12ページをお願いいたします。2項、保険料徴収費は5万5,000円を、3項、運営協議会費は6万4,000円を計上しております。13ページをお願いいたします。1項、療養諸費は、実績より前年度と同額の項合計で3億3,867万6,000円を見込みまして計

上しております。2項、高額療養費は5,550万円で、1目、一般被保険者高額療養費は、240万円減額の5,520万円を計上しております。14ページをお願いいたします。葬祭費は12件分、36万円を、出産育児一時金は4件分、200万円を、移送費は10万円を計上しております。15ページをお願いいたします。3款、国民健康保険納付金は、前年比569万3,000円減額の款合計9,178万8,000円を計上しております。この納付金につきましては、いずれも県から示された金額を計上しております。16ページをお願いいたします。5款、1項、特定健康診査等事業費の主なものは、12節、委託料、特定健診委託料を328万2,000円、特定健診受診率向上事業委託料は336万円を計上し、令和6年度からの新規事業として、若年者健診委託料39万4,000円を計上しております。この事業は、40歳から対象としていた特定健診を20歳から受診できるよう、対象年齢の引下げを行うものであります。17ページをお願いいたします。2項、保健事業費の主なものは、12節、委託料、脳ドック委託料で15件分、97万5,000円を、また、適正服薬通知事業委託料は163万8,000円を計上しております。令和6年度からの新規事業として、人間ドック委託料150万円、25件分を計上しております。主な歳出は以上でございます。

○議長（福田忠由君）

説明を終わります。質疑を行います。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

1ページの保険料なんですけども、令和3年から4年にかけては93万8,000円の増と、令和4年から5年にかけては262万5,000円の増になっただけなんですけども、これ645万4,000円の減ということはどういうことなのか説明をお願いします。それから、8ページの財政対策補助金、これ去年も聞いたんですけども、忘れたんで再度お願いします。一般会計繰入金、これは全て法定内だと思うんですけども、法定内かどうか。この11ページの委託料のレセプト電算処理委託料というのは、去年は電算処理委託料とレセプトがついてなかったんですけど、同じものなんですか。これもいつも聞いてるんで葬祭費、14ページ、令和5年は何人の方が亡くなったのかということと、それで太地町で何人の方が亡くなったのか、それと下の令和5年は何件分で、太地町で何人の赤ちゃんが生まれたのかということ。それと、16ページ、令和5年の特定健診の対象者数と実績をお願いします。それと、脳ドックを人間ドックに変えていくということですか。去年、脳ドックの委託料が260万円で40名分だったのが、今年は15人分と、人間ドック、新しくこれが25件、25人分ということで、これを脳ドックをこっちのほうへ変えていくということですか。以上です。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

すいません、7ページなんですけれども、保険料の差額ですね、今年度645万4,000円ということなんですけれども、こちらのほう県への納付金が減額になったためというのが主な要因なんですけれども、この納付金の減額の要因というところで、理由としましては被保険者数や所得等の減少によるものとなっております。8ページ、お願いいたします。財政対策補助金でございますが、重度心身障害者医療制度による国保財政の影響分を緩和するための補助金となっております。国保の被保険者に制度の対象者がいるため交付されるものであります。繰入金なんですけれども、こちら全て法定内の繰入れとなっております。11ページお願いいたします。今回、予算ではレセプト電算処理委託料というふうな表記をさせていただいてるのは、昨年度まで電算処理委託料という名称で計上させていただいたものと同じものとなっております。14ページをお願いいたします。葬祭費なんですけれども、令和5年度、国保では5名になります。町全体としましては、77名となっております。次に出産育児一時金の人数でございますが、国保が2名、後まち全体としては10名となっております。16ページをお願いいたします。特定健診の対象者ということだったかと思えます。対象者のほうは635名になります。後受診者としては、163人ですね。受診率としましては、25.7%となります。こちら、まちの実施の受診になるんですけれども、5年度につきましては、ロコモ検診という検診が行われておりました。大体、このロコモ検診数年に一度実施されるんですけれども、このロコモ検診受診した年は、大体100名ぐらいちょっと上乗せになります。ですので受診率としては40%を超えてくるんじゃないかというふうな見込みを我々しております。後、脳ドックのほうが人間ドックのほうに移っていくのかというご質問だったかと思うんですけれども、これはもう両方のドック事業継続してやっていきたいと考えております。脳ドックのほうですね、昨年度40名分計上しておりました。今年度につきましては15名の計上になっているんですけれども、こちらのちょっと受診のほう、受けていただきます医療機関様の受入れ可能の件数の関係で国保事業のほうへの割当てがちょっと減ったということで、金額のほうが減額となっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

7ページなんですけれども、先ほど課長のほうから説明ありました。これ保険料なんですけれども、前年と変わらないような金額なんです。ここで国民健康保険料の値上げがあるのかないのかと、この数字を見たら値上げは僕はないのかなとは思ってるんですけれども、そこら辺を教えてください。また、国保でも人間ドックを計上していただいて非常にあり

がたいと思っております。以上です。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

賦課する総額というところでは、前年度と少なくなったということにはなるんですけども、国保というんですか、賦課する対象となる世帯の皆さんに対しての賦課の金額となると、これが前年度と比べて下がるかというのは、またちょっと別の話になってくるのかなと考えております。所得とか、そういうところでの、このバランスというのもあるかと思いたすんで、これはまたちょっと所得確定してあの本算定の際にちょっとどうなるかというところが見えてくるのかなと考えております。以上です。

○議長（福田忠由君）

3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

これはもう当然、僕も存じてます。何でもそうですよね。税金でもそうでしょ。所得が上がれば、当然払う金は増えてくると。全体的な国保料で、介護保険やったら介護保険値上げしますよ何%とやってるじゃないですか。国保は、今回全体的な所得のある、ないは別として、全体的に保険料が値上げされるんですかということをお聞きしてるんですけど。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

すいません、そうですね、こちらの保険料率ということになるかと思いたす。この率につきましては、今後ちょっと検討させていただきたいと思っております。ちょっとこの額を賦課するためにというところで、割合のほう算定ということになりますので、すいませんが、また、ご理解よろしくお願いたします。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑はありませんか。5番、久原君。

○5番（久原拓美君）

最近の新聞見るとね、岸田さんがこども手当500円というのは、こども手当500円プラスしますと新聞よく出てますよね。国民に対しては、プラスマイナスゼロですと言うんですけども、この国民保険からもやっぱりこども手当500円分というのは、どんな格好で反映されてるんですか。それとも、新しく今度国会通ってから、新たに出てくるんでしょうか。我々素人からすると500円分が保険料で跳ね返ってくるのかなという格好でしか受けとめられんのですよね、新聞見るとね。実際、国の予算が通った後、その分がプラスアルフ

アになってくるのでしょうか。そういう情報はないですか。あったら教えてほしいと思います。皆さん聞きたいなというところだろうと思うんですけども。分かっている範囲で結構です。

○議長（福田忠由君）

漁野副町長。

○副町長（漁野洋伸君）

まだ、その詳しい情報がまだちょっと入手しておりません。また、分かり次第、早急に伝えますので、よろしくをお願いします。

○議長（福田忠由君）

休憩します。

休憩 午後 3 時 2 2 分

再開 午後 3 時 2 3 分

○議長（福田忠由君）

再開します。ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

質疑を終わります。討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

討論を終わります。これから議案第 2 5 号、令和 6 年度特別会計太地町国民健康保険事業予算を採決します。お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

異議なしと認めます。したがって、議案第 2 5 号、令和 6 年度特別会計太地町国民健康保険事業予算は、原案のとおり可決されました。

△日程第 2 7 議案第 2 6 号

○議長（福田忠由君）

日程第 2 7 議案第 2 6 号、令和 6 年度特別会計太地町介護保険事業予算を議題とします。事務局長に朗読させます。

（事務局長朗読）

○議長（福田忠由君）

説明をお願いします。下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

令和6年度特別会計太地町介護保険事業予算について説明させていただきます。1ページをお願いいたします。第1条、予算総額ですが、歳入歳出それぞれ4億9,574万6,000円としており、前年度比2,292万8,000円の減額となっております。主な減額の原因としては、保険料給付費の減額であります。8ページをお願いいたします。歳入ですが、1款、1項、介護保険料、1節、現年度としまして8,777万2,000円を計上しております。前年度比278万円の増額でございます。4款、1項、1目、介護給付費負担金ですが、介護サービス給付費等についての国からの定率負担分となっております。現年度分8,346万9,000円で、前年度と比較いたしまして285万円の減額でございます。9ページをお願いいたします。2項、国庫補助金につきましては、目合わせて5,020万7,000円で、前年度より278万3,000円の減額でございます。10ページをお願いいたします。5款、1項、支払基金交付金、1目、2目を合わせまして1億2,977万5,000円を計上しております。前年度より426万7,000円の減額です。6款、1項、県負担金は6,481万7,000円を計上し、前年度に比べ225万3,000円の減額となっております。11ページをお願いいたします。3項、県補助金につきましては、1目、2目合わせまして、現年度分466万2,000円を計上しており、前年度比59万3,000円の減額となっております。12ページをお願いいたします。10款、1項、一般会計繰入金につきましては、7,219万9,000円を計上しております。介護給付費等法定内の繰入れで前年度と比較しまして、929万7,000円の減額とさせていただきます。2項、基金繰入金ですが、121万円を計上しております。前年比11万5,000円の増額で、保険料基準額抑制のための増額となっております。13ページをお願いいたします。13款、4項、雑入ですが、150万円を計上しております。令和5年度は、介護予防サービス費外収入として介護予防サービス計画等に係る手数料収入を計上しておりましたが、令和6年度から包括支援センターを委託するため、委託先の社会福祉協議会の収入とすることとなるため未計上となっております。目全体で前年度と比較しまして、378万円の減額となります。14ページをお願いいたします。歳出でございます。1款、1項、総務管理費379万2,000円を計上し、前年比419万5,000円の減額であります。主な理由としては、令和5年度で第9期介護保険事業計画策定に係る費用計上があったことによる減額となります。15ページの2款、1項、介護サービス等諸費は4億1,400万円を計上しており、前年度比1,700万円の減額。16ページをお願いいたします。2項、介護予防サービス等諸費は1,072万円を計上し、前年比260万円の増額で、各項ともに令和

5年度給付実績を勘案し、減額計上させていただいております。17ページをお願いいたします。4項、高額介護サービス費ですが、60万円減額の1,390万円を、5項、高額医療合算介護サービス等費は10万円減額の160万円を計上しております。18ページをお願いいたします。6項、特定入所者介護サービス等費は60万円を減額し、1,570万円を計上しております。5款、1項、介護予防・生活支援サービス事業費は、前年度同額の1,855万4,000円を計上しております。19ページをお願いいたします。2項、介護予防事業費は12節で配食サービス事業費と通所型介護予防事業委託料合わせて11万円減額の567万9,000円を計上しております。20ページをお願いいたします。3項、包括的支援事業・任意事業費ですが、5目、12節、太地町地域包括支援センター運営委託料713万1,000円を計上しております。これは、太地町社会福祉協議会に包括支援センターの運営を委託するための費用となっております。項全体予算額975万3,000円、前年比300万7,000円の減額となっております。21ページをお願いいたします。7款、1項、公債費につきましては、一時借入金利子として7万4,000円を計上しております。8款、1項、償還金及び還付加算金につきましては、過年度保険料還付金5万円と見込み計上しております。22ページをお願いいたします。予備費につきましても、前年度同様100万円を計上しております。説明は以上です。

○議長（福田忠由君）

説明を終わります。質疑を行います。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

8ページの特別徴収、普通徴収、滞納繰越分の人数をお願いします。令和6年。それと、9ページの地域支援事業交付金、これが100万ぐらいずつ、令和4年から令和5年にかけては111万2,900円の減、令和5年から令和6年にかけては115万8,000円の減、100万ずつ減つとるんですけど、これはどういう理由で減ってるのか。それから、これはもう全て法定内ということやったね。それで、12ページ、介護給付費準備基金の残をお願いします。それから、この雑入の説明がちょっと分からなんだんですけど、これ人件費ですか。378万円の減で、介護予防利用料が150万円。これ、何で減になるんですか。それと、16ページの介護予防サービス給付費、260万円の増についての説明をお願いします。それから、19ページの配食サービス、令和5年の実績をお願いします。この辺もちょっと分かりにくいんですけど、20ページの委託料ですね。去年は太地町社会福祉協議会派遣負担金が1,030万8,000円だったのが、今回は太地町地域包括支援センター運営委託料で713万1,000円ということで、これをもうちょっと分かりやすく説明してほしいと思います。これも人件費ですか。その下の高齢者等見守り事業が13万円の減ということで説明をお願いします。以上です。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

8ページお願いいたします。人数なんですけれども、特別徴収が1,136名、普通徴収、82名、滞納が7名となっております。9ページをお願いいたします。地域支援事業交付金、包括的支援事業・任意事業の減額の理由なんですけれども、こちらは、包括支援センターの人件費として支出しておりました太地町社会福祉協議会派遣負担金というのが、令和5年度では1,030万8,000円の歳出をしてたんですけれども、令和6年度から太地町地域包括支援センター運営委託料としまして、こちら歳出予算が713万1,000円となりました。そのための減額となります。この歳出に対して、国費として38.5%かけた額がこちらの交付金となります。歳出の減のためということになります。雑入のほうのちょっと説明がということなんですけれども、先ほどの派遣負担金から委託料に変わったっていうところで、もう一つの20ページのご質問とも絡んできますので、ちょっと分かりやすく説明できるかちょっと自信がないんですけれども、ちょっと説明させていただきます。こちら、派遣負担金のころから、今回の委託料も人件費分、2名分でございます。それと、後プラス事務経費分となります。こちら、派遣のころはこの一千何がしの金額だったんです。今年度につきましても、同じく試算では1,100万弱という計算が出ておりました。そこで、今まで雑入で入ってきておりました包括支援センターのケアプランに係る歳入がございまして、こちらの歳入を包括支援センターの歳入ということで、包括支援センターのほうで受け入れていただくような形を考えました。それで、その分を360万円というふうに見込みまして、差し引きした713万1,000円を歳出計上とさせていただきます。こちら、いろいろ担当とも考えまして、こちらのところが金額が多いと保険料にもかかわってまいります。そういうところで、みんなでちょっといろいろ考えまして、こういう形にさせていただきました。12ページのほうをお願いいたします。基金の残高なんですけれども、1,036万4,000円になります。後16ページ、介護予防サービス給付費、前年度比のちょっと260万円の増額の理由ということなんですけれども、こちらは介護予防サービス給付費等の増額によるものでございます。介護予防費の給付が実績ちょっと伸びてきておまして、前年度の予算額より増額計上とさせていただきます。後、19ページをお願いいたします。配食サービス事業委託料の実績でございますが、年間延べ人数の2月までなんですけれども、延べ人数で261名です。月平均としましては23.7、大体24人弱ということになるかと思えます。食数で言いますと4,188食で月平均380.7、381食になるかと思えます。後、20ページですが、高齢者等見守り事業の減額ですが、こちらQRコードのシールを作成しまして、それでちょっと身元が分かるような、連絡先とかQR読み込めば分かる

ようなシールを作成してたんですけれども、こちらちょっとそのシールの作成枚数を減らしたため、減額をさせていただくことになりました。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

先ほどの説明を聞いてると、13ページの雑入、これ378万円の減ということは、この雑入というのは、要支援1、2等の介護ケアプランを作成する手数料のお金なんじゃないかね。その包括が委託することによって、これがマイナスになると、向こうの収益となるということじゃないかなというような気がしますね。それから、20ページ、713万1,000円、これは結局は、この三百何十万円が減になります。だから、数字上の操作であって、介護保険上では1,000万円が、やはり収益として、歳出としていってしまうような感じになるんじゃないかなというような気がするんですよね。本題なんですけれども、この介護保険2名分ということで、713万1,000円計上してます。これ、人件費だけではなく、事務費も絡んでいるということなんです。それで、人件費と事務費と一度分けて、これを説明していただきたいというのがまず1点。2名分と言われてましたよね。一般会計のほうでケアプランの補助だったですかね。それは社会福祉士と、そして理学療法士の給料分、こちらは恐らく主任ケアマネ2人分になるのかなというような気がするんですけれども、そのところも、できたらお願いしたいと思います。また、ここで包括的継続的ケアマネジメント支援のためのこの金額を支出すると思いますが、令和5年度の事業と実績からの数字からあげて来られたと思うんですけれども、その実績を聞きたい、教えていただきたいというように思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

休憩します。

休憩 午後3時45分

再開 午後3時45分

○議長（福田忠由君）

再開します。下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

すいません、人件費と事務費の金額なんですけれども、ちょっとすぐには出ないもので、またちょっと計算して報告させていただきます。

○議長（福田忠由君）

稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

ケアマネの20ページの包括的・継続的ケアマネジメント支援事業のケアプラン以外の実績でございますが、総合相談件数としまして、年間5年度まだ継続中なんですが、年間大体306件の相談件数を受けております。後はなかよし体操が、今年度も大体47回程度、青空体操も204回程度をやっております。これらは、一般会計のほうで出てる理学療法士とかも一緒に含めての件数になるので、この介護のほうのケアマネだけがかかわってるわけではないんですが、含めての件数になります。後は包括的継続的ケアマネジメント業務としまして、高齢者サービス調整会議に出席してもらってます。大体これは月1回程度出席しております。介護支援専門員の研修の開催ということで、これは研修に参加するほうではなく、地域のケアマネを育てるための研修を企画して開催をしています。これは年に2回程度行っております。後は、ケアマネさんへの個別支援の対応として困難事例などの相談に応じております。後は認知症の総合支援事業としまして、認知症についてのお話会であったり、サポーター養成講座と言いまして、小学校中学校の子供たちに認知症についての理解を深めてもらう教室を開催しております。後は権利擁護業務としましては、高齢者の虐待対応とか、成年後見制度に関することであったり、消費生活相談などにも応じております。5年度までは、新型コロナワクチンの集団接種業務もしてございましたので、それも手伝っていただいています。介護保険のほうの認定調査も新規の方はこちらでしてるんですが、変更と更新申請については手伝っていただいています。それらのことをやっていただいています。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。3番、海野君。

○3番（海野好詔君）

もう時間がなくなってきたんで、一般質問で総括で聞かせていただきたいと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。5番、久原君。

○5番（久原拓美君）

一つだけお聞きしたいと思います。20ページの任意事業費の家族介護慰労金事業費、どんな事業なのか、詳しく教えてほしいですけど。

○議長（福田忠由君）

稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

これは介護保険とかのサービスをつけずに、家族が家庭で高齢者の方を見ている方に対する事業です。

○議長（福田忠由君）

5番、久原君。

○5番（久原拓美君）

そうすると、どんな介護でも、どういう支給してくれるわけですよね、家庭にね。介護保険使わないで自分とこですて、どういうケースで、どういう場合に支払われますか。そういう人は全部支払われるんですか。制約があると思うんですけども、支給される条件とかあれば教えてください。

○議長（福田忠由君）

稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

すみません、ちょっとまた調べて、後で答弁させていただきます。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。

○議長（福田忠由君）

休憩します。

休憩 午後3時51分

再開 午後3時51分

○議長（福田忠由君）

再開します。稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

すみません、答弁漏れです。2名分は、主任ケアマネが今2名です。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

20ページの太地町地域包括支援センター運営委託、これ委託するという事なんですけど、委託するにあたって、どんなメリットがあるんですか。僕は、経費がいくつくるだけ無駄やと思うんですけど、その辺だけちょっと聞いておきたいと思います。

○議長（福田忠由君）

下津住民福祉課長。

○住民福祉課長（下津公広君）

メリットとしましては、有事のときにいろいろもう決定権といいますか、もう指揮系統が委託先の社会福祉協議会にいきますので、そういうところで早急な判断ができるというのが

最大のメリットではないかなと考えております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

質疑を終わります。討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

討論を終わります。これから、議案第26号、令和6年度特別会計太地町介護保険事業予算を採決します。お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

異議なしと認めます。したがって、議案第26号、令和6年度特別会計太地町介護保険事業予算は、原案のとおり可決されました。

△日程第28 議案第27号

○議長（福田忠由君）

日程第28 議案第27号、令和6年度特別会計太地町後期高齢者医療事業予算を議題とします。事務局長に朗読させます。

（事務局長朗読）

○議長（福田忠由君）

説明を願います。稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

令和6年度特別会計太地町後期高齢者医療事業予算についてご説明いたします。1ページをお願いします。第1条で歳入歳出予算の総額を1億2,569万9,000円と定めており、前年度から982万4,000円の増額となっております。増額の主な理由は、納付金と保健事業費の増額によるものです。6ページをお願いします。歳入です。1款、1項、医療保険料は前年度より621万6,000円増額の4,732万4,000円を計上しております。7ページをお願いします。4款、1項、一般会計繰入金につきましては、7,756万3,000円で、前年度より300万8,000円の増額です。2節、保険料軽減分の保険基盤安定繰入金につきましては、1,987万5,000円で、前年度より127万3,000円の増額です。3節、療養給付費繰入金は5,145万4,000円を計上しております。5款、6款につきましては、前年度と内容、計上金額ともに変わりません。8ページ

をお願いします。2項、雑入でございますが、例年どおりの脳ドック事業補助金に加え、令和6年度からは人間ドックに係る補助金と合わせまして、70万円を見込んでおります。9ページをお願いします。歳出です。1款、1項、総務管理費は72万4,000円で、前年度と比較しまして6万1,000円の増額です。12節の委託料2万6,000円につきましては、システム連携用機器の保守が令和6年10月で終了となるため、継続して契約を行うための保守料5か月分でございます。10ページをお願いします。2款、1項、広域連合納付金につきましては、広域連合から示された金額の1億2,240万2,000円を計上し、前年度と比較しまして791万3,000円の増額となっております。4款、保健事業費の委託料につきましては、令和6年度からは新規事業としまして人間ドックを、また、健康診査委託料につきましては、後期高齢者健康診査としての詳細な検査項目も全員受診できるよう50名分、5万円を新規に計上しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

説明を終わります。質疑を行います。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

これも、6ページの特別徴収と普通徴収、滞納繰越分の人数と世帯数をお願いします。令和6年度の。それから、10ページの脳ドックと人間ドックの人数を教えといてください。以上です。

○議長（福田忠由君）

稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

6ページの特別徴収、普通徴収等の人数ですが、特別徴収が562人、普通徴収が209人、滞納繰越が13名、世帯数で658世帯です。10ページの委託料ですが、脳ドックが5人分、人間ドックが30人分を計上しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほか質疑ありませんか。5番、久原君。

○5番（久原拓美君）

人間ドックは今度入ってきて非常に喜んでます。病気になる前に見てもらって、早め、早めに対策できるということでいい制度だと思ってます。この5人分という、180万の5人分ということなんですけれども、脳ドックが5人分ですか、人間ドックが30人分です。そうすると、人間ドックもいろいろな施設によって、また検査する項目によって、いろいろ費用違うと思うんですけれども、補助率というのはどのぐらいになりますか。個人の補助率、全額ということはないと思うんですけれども、例えば半額とか、そういうの分かれば教えてください。

○議長（福田忠由君）

稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

議員さんのおっしゃるとおり、医療機関によって金額がバラバラなんですけど、個人負担としては5,000円を考えております。ごめんなさい、間違えました。脳ドックは5,000円なんですけど、人間ドックのほうは委託料の10%を考えております。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。5番、久原君。

○5番（久原拓美君）

委託料の10%が補助ですか、個人負担が10%という意味ですか。そこらもう1回答えてください。

○議長（福田忠由君）

稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

すみません、自己負担分が委託料の10%です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

質疑を終わります。討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

討論を終わります。これから、議案第27号、令和6年度特別会計太地町後期高齢者医療事業予算を採決します。お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

異議なしと認めます。したがって、議案第27号、令和6年度特別会計太地町後期高齢者医療事業予算は、原案のとおり可決されました。

△日程第29 議案28号

○議長（福田忠由君）

日程第29 議案第28号、令和6年度特別会計太地町くじらの博物館事業予算を議題と

します。事務局長に朗読させます。

(事務局長朗読)

○議長（福田忠由君）

説明を願います。稲森くじらの博物館館長。

○くじらの博物館長（稲森大樹君）

令和6年度特別会計太地町くじらの博物館事業歳入歳出予算についてご説明させていただきます。1ページをお願いいたします。歳入についてご説明させていただきます。くじらの博物館収入、1節、入館料につきましては、入館者数13万人、客単価1,350円で算出し、1億7,550万円で、前年度比3,250万円の増額としております。諸収入、売店収入につきましては、客単価を420円で算出し、5,460万円で、前年度比260万円の増額としております。3節、飼料売他は3,500万円とし、前年度比400万円の増額としております。4節、動物管理収入は、くじら浜海水浴場と太地町開発公社、国内水族館の動物管理を対象に、5,515万5,000円とし、前年度比197万9,000円の増額としております。3目、繰入金、地域おこし協力隊事業分650万6,000円は、当該事業で1名雇用し、その取組に支払われる特別交付税措置によるものです。6ページをお願いいたします。歳出についてご説明させていただきます。1節から4節の報酬、給料、職員手当、次ページの共済費、以上に係る職員の人数につきましては、顧問3名、名誉館長1名、職員4名、会計年度任用職員フルタイム4名、パートタイム36名分を記載のとおり計上しております。前年度からは職員1名と地域おこし協力隊1名の計2名分を追加しています。8ページをお願いいたします。10節、需用費につきましては、飼料購入費6,800万円では、前年度比1,000万円の増額としております。物価高騰の影響を受けてのことです。そのほか、医薬材料費1,750万円、売店仕入費3,649万円などを計上しております。9ページをお願いいたします。委託料につきましては、ホームページ制作委託料350万円を計上させていただきました。新たなホームページでは、データ容量を拡張した上で、多言語化、予約システムの導入、デザイン性向上、活用性向上、セキュリティ強化、アクセス解析機能、スマートフォン対応機能など機能追加向上を検討しております。同じく委託料、便所改修工事設計監理料として64万4,000円を計上しております。工事請負費でも計上させていただきましたが、博物館本館1階、2階のトイレにおける部分改修の設計監理に係る費用でございます。その下、人材募集業務委託料121万円は、地域おこし協力隊員の募集にかかり、募集のサポートを受ける費用でございます。既に募集を進めておりますが、従来の公募で応募がなかった場合、本サポートを受ける予定としております。特別交付税措置の対象経費でもあります。10ページをお願いいたします。14節、便所改修工事720万円を計上しております。先ほど委託料でもご説明したとおり、博物館本館1階のトイレが主な対象

です。17節、備品購入費につきまして、動物購入費700万円のほか、飼育、研究、その他業務に必要な備品を記載のとおり、延べ878万2,000円を計上しております。18節、負担金補助及び交付金につきまして、くじら浜公園分担金500万円とし、前年度比400万円の増額としております。令和5年度以降行動規制がなく、正常に営業広報活動ができたことによるものです。11ページをお願いいたします。水族館費は1,139万9,000円を計上しております。以上です。

○議長（福田忠由君）

説明を終わります。質疑を行います。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

これはいつも聞いているように、最初に現在、博物館が所有する鯨類の種類と頭数、それから、令和5年の博物館における死亡鯨類の種類と頭数、それから、現在、博物館が管理している開発公社の鯨類の種類と頭数、それから、令和5年の開発公社の死亡鯨類の種類と頭数、それから、現在、開発公社以外に管理している鯨類があれば、種類と頭数と企業名をお願いいたします。それと、令和4年3月8日現在で、去年は12万8,297人の入館者数がありましたけども、令和5年、現在までの入館者数をお願いいたします。それから、雑収入、3,500万円、プラス400万円ということで、現在までの実績をお願いいたします。動物管理収入5,555万5,000円、未収の管理代とか餌代、譲渡代金、開発公社から払ってもらったのかということをお聞きしたいと思います。それから、地域おこし協力隊事業分というのは、これどういう事業なんですか。それから、基金の残ですね。小型鯨類譲渡代金500万円、令和5年の実績をお願いいたします。それと、これ人件費が2,407万4,000円の増になってるんですけど、すごいなと思うんですけどね、これ。人件費が共済費、報償費含めると、1億9,281万2,000円、歳入合計の46%を人件費が占めるという企業なんですけど、こういうのでやってけるのかなと、本当に心配なんですけど。それと、飼料購入費と医療材料費の内訳、大まかでいいですからお願いします。それから、これは旅費ですね、これ外国があればお願いします。それから、ホームページ制作委託料350万円、これどこへ委託するのかですね。それと、13節の動物用内視鏡システムリース料というのが、115万9,000円が削除されている理由ですね。それから、10ページの備品購入費、動物購入費の令和5年度の実績をお願いいたします。この移動式エアコンというのはどういうものなんですか。くじら浜公園の分担金の400万円の増の理由ですね。これ、分かりやすくちょっと説明してください。以上です。

○議長（福田忠由君）

稲森くじらの博物館館長。

○くじらの博物館長（稲森大樹君）

まず、動物に関してご説明させていただきます。令和5年度の現在、博物館で所有している動物数でございますが、コビレゴンドウが3頭、オキゴンドウが1頭、ハナゴンドウ7頭、カズハゴンドウ3頭、バンドウイルカ14頭、カマイルカ3頭、マダライルカ3頭、スジイルカ1頭、シワハイルカ2頭、雑種4頭、合計で雑種を除いて9種の雑種を含む41頭となります。続きまして、博物館の死亡個体ですが、コビレゴンドウが1頭、スジイルカ2頭、雑種が1頭、合計で2種4頭になります。公社の個体でくじらの博物館が飼育管理している個体ですが、コビレゴンドウが7頭、ハナゴンドウが21頭、バンドウイルカ82頭、カマイルカ11頭、計4種121頭となります。公社死亡個体ですが、バンドウイルカ2頭、スジイルカ4頭、合計で2種6頭になります。また、現時点でほかに飼育管理している個体はございません。続きまして、4ページの入館料、入館者数の実績のところになります。3月11日時点になりますが、12万1,253名となっております。続きまして、飼料売他、現在までの実績となります。こちら2月末時点となります。合計で3,558万5,860円となります。内訳としまして、餌あげ体験が約1,750万円、ビーチでふれあいが約220万円、カヤックアドベンチャーが約830万円、イルカにタッチが約640万円、トレーナー体験が約20万円、ふれあい満喫パックが約30万円、ドルフィンダイビングが約60万円となります。続きまして、動物管理収入の5,515万5,000円のところでございますが、今年度の実績として、公社から3,016万2,264円、以上お支払いいただいております。続きまして、地域おこし協力隊事業分650万6,000円についてですが、まず事業概要について、制度概要についてご説明すると、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を地方公共団体が地域おこし協力隊員として委嘱、隊員は一定期間、地域に移住して地域ブランドや地場製品の開発、販売、PR等の地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの事業を図る取組となっております。くじらの博物館としましては1名を雇用して、営業広報等の業務にあたっていただきたいと思いますと考えております。また、その下、小型鯨類譲渡代金の現時点の実績となりますが、今年度は2,200万円、公社からお支払いいただいております。続きまして、基金の残高が1億877万3,543円となっております。続きまして、6ページの説明になります。人件費増の理由になりますが、17ページにもありますように、職員増員に伴うものと、後は職員増員及び会計年度任用職員の勤勉手当支給に伴うことが大きな増の理由となっております。続きまして、7ページ旅費についてですけれども、外国の予定は今のところございません。続きまして8ページ、飼料購入費6,800万円の内訳になります。ホッケ130トン、2,900万円、ニシン40トン、1,000万円、イカ10トン、700万円、シシャモ20トン、800万円、オオナゴ30トン、800万円、サバ等その他魚種で30トン、600万円となります。続きまして、医薬材料費1,750万円の内訳となります。ビタミン剤5

00万円、抗菌剤900万円、消化器系薬剤60万円、消毒用次亜塩素酸ナトリウム水溶液200万円、生化学検査試薬50万円、塩素以外の消毒剤20万円、その他薬剤20万円となります。続きまして、9ページ、ホームページ制作委託料350万円になりますが、こちらはまだ委託先のほう決めておりません。いろいろヒアリング等業者さんのほうにはしておりますが、新年度でプロポーザル方式をとるなど、業者の選定をしていきたいと考えております。続きまして、10ページ、動物購入費、今年度の実績になりますが、購入はございません。備品になります。移動式エアコン、1台15万円になりますが、主に夏季炎天下での設備作業員の屋外作業中に使用したいというふうに考えております。また、くじら浜公園分担金500万円、こちら400万円の増額ですが、去年は100万円として、これはその前の令和4年度の繰越しがだいぶあったため、その費用で営業活動ができたことによるものです。今年度につきましては、繰越しが5年度正常に活動ができたため、そこまで多くは残っていないため、令和4年度以前の500万円の負担金を計上させていただいたという次第でございます。すいません戻ります、胃内視鏡のリース手数料がなくなった件なんです。こちらリース期間の5年間が終了したため支払いが終わったものです。昨年と比べて2名増員させていただいております。1名は職員、前回の議会ですかね、議員さんからのご指摘がありましたように、副館長の支払い先の問題等もありまして、新年度事業ではこちらの予算に計上させていただいたということで1名と、後は地域おこし協力隊、この1名が増となっております。基本的に職員構成というのは変更していないといえますか、増にはなっていないという状況です。ただ、事業に見合う人数かということでございますけれども、今、飼育動物、くじら博物館、公社含めてですけれども、非常に多い状態となっておりますので、今のところはこの人数でやりくりさせていただきまして、今後の事業規模ですとか、動物の飼育数を鑑みながら、今後検討させていただきたいと思っております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

質疑を終わります。討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

討論を終わります。これから議案第28号、令和6年度特別会計太地町くじらの博物館事業予算を採決します。お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

異議なしと認めます。したがって、議案第28号、令和6年度特別会計太地町くじらの博物館事業予算は、原案のとおり可決されました。先ほどの議案第26号、令和6年度特別会計太地町介護保険事業予算の質疑の中で、町長より答弁漏れの申出があります。答弁願います。稲藪住民福祉課企画員。

○住民福祉課企画員（稲藪江美君）

介護保険事業予算の中の20ページ、扶助費の家族介護慰労金事業についてでございますが、これは介護保険法の要介護認定において、要介護4または5と判定された町県民税非課税世帯の在宅高齢者であって、過去1年間介護保険のサービスを受けなかった方の家族に介護慰労金として支給するものです。10万円としております。以上です。

△日程第30 議案第29号

○議長（福田忠由君）

日程第30 議案第29号、令和6年度企業会計太地町水道事業会計予算を議題とします。事務局長に朗読させます。

（事務局長朗読）

○議長（福田忠由君）

説明を願います。脊古産業建設課副課長。

○産業建設課副課長（脊古 景君）

令和6年度企業会計太地町水道事業会計予算についてご説明させていただきます。1ページをお願いします。第3条、収益的収入及び支出の予定額は次のとおりとなっております。はじめに収入でございます。1款、水道事業収益8,366万5,000円、1項、上水道営業収益7,168万円、2項、営業外収益1,168万5,000円、3項、簡易水道営業収益30万円です。次に支出でございます。1款、水道事業費用9,733万9,000円、1項、上水道営業費用8,857万7,000円、2項、営業外費用739万7,000円、3項、簡易水道営業費用31万5,000円、4項、特別損失5万円、5項、予備費100万円でございます。2ページをお願いします。第4条、資本的収入及び支出の予定額は次のとおりです。収入ですが、1款、資本的収入4,951万1,000円、2項、負担金3,201万1,000円、3項、企業債1,750万円でございます。続いて支出です。1款、資本的支出6,079万8,000円、1項、建設改良費4,022万7,000円、2項、償還金1,957万1,000円、3項、予備費100万円でございます。続いて、予算の詳細について主な部分を説明させていただきます。25ページをお願いします。1項、上水道営業収益ですが、前年度と比較しまして、191万4,000円の減額となっております。

ます。水道料金の算定につきましては、給水収益の過去5年間の実績や、令和5年度11月までの実績等から算出し計上しております。給水人口の減少が大きな要因と考えております。2項、営業外収益ですが、33万3,000円の減額となっております。27ページをお願いします。1目、原水及び浄水費ですが、前年度比71万9,000円の減額でございます。22節、動力費を減額計上しております。28ページをお願いします。2目、配水及び給水費ですが、前年度比1,235万5,000円の増額でございます。3月末で会計年度任用職員が1名退職となり、職員を採用いたしますので、1節、給料が166万7,000円、2節、手当等が58万8,000円、5節、法定福利費が59万4,000円増額となっております。3節に賞与引当金繰入額を64万9,000円計上しております。8節、備用品費の備品購入費ですが、これは停電等緊急時に使用する携帯電話の購入費用となっております。29ページをお願いします。12節、委託料ですが、869万2,000円の増額となっております。今年度におきましては、漏水調査委託料467万5,000円、量水器交換委託料492万,9000円、配水池清掃委託料165万円等を計上しております。30ページをお願いします。14節、使用料及び手数料の一番下、事務手数料ですが、これは携帯電話購入時の事務手数料となっております。31ページをお願いします。総係費ですが、503万6,000円の増額となっております。32ページをお願いします。12節、委託料546万4,000円増額となっております。経営戦略改定支援業務委託料473万円や公営企業会計システム導入委託料77万円を計上しております。太地町水道事業経営戦略については、こちら平成28年度に作成したんですが、見直しを予定しております。公営企業会計システム導入委託料ですが、現在、役場庁舎内にサーバーを設置しているんですが、保守期間が経過し、機器更改が必要となります。それに合わせて、このサーバー型からクラウド型に変更するための初期費用となります。14節、使用料及び手数料ですが、21万円増額となっております。令和6年10月から振込手数料が必要となりますので、予算計上しております。また、会計システムをクラウド化することにより、システム等使用料が必要となりますので、19万円計上しております。33ページをお願いします。4目、減価償却費ですが、前年度比38万4,000円の減額でございます。2項、営業外費用ですが、前年度比33万3,000円の増額でございます。消費税納付額が増額見込みとなっております。35ページをお願いします。1款、資本的収入、2項、負担金、3目、他会計負担金を3,201万1,000円計上させていただいております。企業債元金償還金や、町道南通谷1号線配水管布設工事などの財源に充てるものとなっております。3項、企業債ですが、1,750万円計上させていただいております。町道南通谷1号線配水管布設工事や夏山配水池更新工事測量設計等業務委託料などの財源に充てるものとなっております。36ページをお願いします。1款、資本的支出、1項、建設改良費、2目、施設改良事業費、1節、委託料、夏山

配水池更新工事測量設計等業務委託料1,611万5,000円を計上しております。2節、工事請負費ですが、676万円の減額となっております。南通谷1号線配水管布設工事ですが、当初予定していた配水管の口径などを変更し、設計を行ったところ資材高騰などもあり、費用が大幅に増額となったため、令和6年度にて再度予算計上させていただいております。

2項、償還金、1目、企業債償還金ですが、15件分、1,957万1,000円を計上させていただきます。以上です。

○議長（福田忠由君）

説明を終わります。質疑を行います。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

まず最初に有収率、令和5年の有収率聞いておきたいと思います。それから、4ページになるんですけども、給水収益が4年間で約750万円の減になってるんですけども、このことについてどう考えているのか。それから、6ページの他会計負担金、数字おとるかどうかわからんですけど、3,201万1,000円をこれプラスすると去年までで2億2,481万5,078円やったもんが、2億5,682万6,078円、これ全部過疎債なのかですね。それから、その下の企業債、これは簡易水道事業債でいいですか。それから一番びっくりしたのが、当年度純損失がですね、8ページのキャッシュフローで1,461万5,065円の損失が出てるんですけど、これはどういうことでこういうふうなふうになったのか、説明をお願いします。後は、29ページの委託料、漏水調査委託料467万5,000円についての説明をお願いします。もう、調査しても次々あられるから調査せんほうがええんちゃうかなと思うけど。それと、32ページの経営戦略改定支援業務委託料473万円の説明をお願いします。それから、36ページの施設改良事業費で、委託料として夏山配水池更新工事測量設計等業務委託料というのが出とるんですけども、夏山の配水池更新工事というのは、大体幾らぐらいいると考えてますか。以上です。

○議長（福田忠由君）

脊古産業建設課副課長。

○産業建設課副課長（脊古 景君）

まず、有収率からなんですけども、今年度40.9%となっております。4ページをお願いします。給水収益なんですけども、750万円減となっております。これも人口減少によってどんどん給水人口が減ることによるものと考えております。6ページをお願いします。3,201万1,000円の内訳なんですけども、そのうち1,730万円が過疎債となっております。企業債につきましては、簡易水道事業債ということでよろしくをお願いします。8ページの純損失なんですけども、こちら会計年度任用職員退職によって、職員を採用しますので人件費の増額ですとか、今年度でしたら、経営戦略改定支援業務委託料であるとか、

漏水調査委託料など数年に一度の業務が今年度に集中したことによるものと考えております。また、損益計算書の純損失につきましては、1,461万5,065円となっておりますけれども、その中には現金支出を伴わない費用なども含まれておりますので、現金については、増加しております。29ページの漏水調査なんですけれども、先ほども有収率お伝えさせていただいたんですけれども、かなり下がっておりますので、その漏水調査を行って何とか見つけたいなと考えているところでございます。32ページをお願いします。経営戦略改定支援業務委託料なんですけれども、平成28年度に策定した経営戦略の改定が必要な時期、見直しが必要な時期になってきておりますので、計上させていただいております。36ページをお願いします。夏山配水池更新工事に関する事なんですけれども、最終的に現時点で分かっているのが、委託料と工事請負費込みで約9,000万円と見込んでおります。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑はありませんか。2番、森岡君。

○2番（森岡茂夫君）

36ページの工事請負費なんですけど、間違ったら指摘してください。今年度、市屋のポンプ場の更新のために用地買収をやったのと、それから、確か設計監理委託料も入ってたと思うんですが、次年度にはそれを、工事はやらないということでしょうか。

○議長（福田忠由君）

脊古産業建設課副課長。

○産業建設課副課長（脊古 景君）

その市屋の関係なんですけれども、ちょっと市屋区のほうとちょっと協議が必要になりました、その協議についてもちょっと時間がかかりそうなので、6年度においては予算の計上は見合わせております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑ありませんか。5番、久原君。

○5番（久原拓美君）

資本的支出で、施設改良事業3,600万円というのが、夏山のこの設計委託とかも入っていると思うんですけれども、夏山については、あそこの配水池、線路の上にある分を指しているんだろうと思うんですけれども、あそこで山に登ってみると、木に赤いテープ巻いてあるのがずっと山の際にずっと立っているんです。あれば測量済んだ後ですよ。多分、その道の関係かなと思って、私、確認してきたんですけれども、いよいよ配水池が設計業務委託となると、タイムスケジュール的にはその道と絡めて、これからですね、来年度の当初予算か何かで、その道も含めて、その池の分も計上できると、予算計上できるというような考えてよろしいのでしょうか。

○議長（福田忠由君）

脊古産業建設課副課長。

○産業建設課副課長（脊古 景君）

その道路の測量等も行ったんですけど、まず、その配水池の設置を先に行いたいと思います。以上です。

○議長（福田忠由君）

5番、久原君。

○5番（久原拓美君）

その配水池をつくるための道路を測量してもらったのかなと思ってたんです、私。材料を運ぶのに道がないんで、こんな急な山道をいろんなセメントを担いで、資材担いでいかならんということ、その道路の話が出たように思ってたんですけども違うんですか。

○議長（福田忠由君）

脊古産業建設課副課長。

○産業建設課副課長（脊古 景君）

まず、配水池の設置を先行します。その際に資材等はモノレールを使ってその場所まで運搬する予定となっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

5番、久原君。

○5番（久原拓美君）

そうすると、まちの考えからしたら、水道事業会計ではその分をすると、そこへつける道については、一般会計から道をつけるというふうに考えたらいいんですか。

○議長（福田忠由君）

漁野副町長。

○副町長（漁野洋伸君）

道につきましては、当初、やっぱりそこへタンクと道というような形で測量等を進めていたんですけども、いろいろと探っていきますと、端的に言いますとやっぱり財政上、料金値上げとかに絡んでくるんで、ちょっと慎重に進めたいんですよ。ちょっと今探しているところで、まずそのタンクの設置で今どんな工法があるのかということで、原課で検討して、そんな形でやらせていただきます。よろしくお願いします。

○議長（福田忠由君）

休憩します。

休憩 午後4時40分

再開 午後4時40分

○議長（福田忠由君）

再開します。ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

質疑を終わります。討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

討論を終わります。これから議案第29号、令和6年度企業会計太地町水道事業会計予算を採決します。お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

異議なしと認めます。したがって、議案第29号、令和6年度企業会計太地町水道事業会計予算は、原案のとおり可決されました。暫時休憩します。

休憩 午後4時41分

再開 午後4時42分

○議長（福田忠由君）

再開します。

△日程第31 議案第30号

○議長（福田忠由君）

日程第31 議案第30号、令和6年度企業会計太地町公共下水道事業会計予算を議題とします。事務局長に朗読させます。

（事務局長朗読）

○議長（福田忠由君）

説明をお願いします。奥田産業建設課副主幹。

○産業建設課副主幹（奥田耕司君）

令和6年度企業会計太地町公共下水道事業会計予算についてご説明させていただきます。最初に、令和5年度まで法非適用にて運営しておりました下水道事業会計ですが、令和6年4月より、法適用し運営を続けてまいります。1ページをお願いします。第1条、令和6年度太地町公共下水道事業会計予算は、次に定めるところによります。第2条、業務の予定量は次のとおりで、4、主な建設改良事業として、キュービクル取替工事を予定しております。

次に、第3条、収益的収入及び支出の予定額は次のとおりとなっております。はじめに、収入でございます。1款、下水道事業収入、4,891万3,000円、内訳としまして、1項、下水道収益、2,123万6,000円、2項、営業外収益、2,767万7,000円でございます。2ページをお願いします。次に支出でございます。1款、下水道事業費用、7,225万1,000円、内訳としまして、1項、営業費用、6,873万7,000円、2項、営業外費用、221万4,000円、第3項、特別損失、60万円、4項、予備費、70万円でございます。次に、第4条、資本的収入及び支出の予定額は次のとおりです。はじめに収入でございます。1款、資本的収入、2,749万7,000円、内訳としまして、1項、企業債、690万円、2項、他会計負担金、2,059万7,000円です。続きまして支出となります。1款、資本的支出、2,764万8,000円、内訳としまして、1項、建設改良費、1,395万円、3項、企業債償還金、1,369万8,000円となります。続いて、予算の詳細について、主な部分を説明させていただきます。16ページをお願いします。1項、営業収益ですが4,891万3,000円で、営業収益、2,123万6,000円、営業外収益、2,767万7,000円となっております。営業収益、下水道使用料ですが、今回、前年度予定が載っていませんが44万7,000円の増額となっております。これ昨年度よりも2%弱の増額となっております。算定については、過去の実績や令和5年11月までの実績等から算定しております。次に、2項、営業外収益ですが、他会計負担金で1,232万7,000円ですが、これは一般会計繰入金となっております。次に、長期前受金戻入、1,105万円となっております。次に、国庫補助金、430万円ですが、17ページをお願いします。1目、管渠費の委託料、下水道台帳整備委託料、860万円にかかる補助金となっております。これは昨年度、下水道台帳整備委託事業にてCADデータ化したものを、社団法人日本下水道協会の下水道管路施設のデータを保管するクラウド型サービスに対応させるものです。次に21ページをお願いします。1目、建設改良費、1節、工事請負費、1,395万円です。内容として、まずキュービクル取替工事につきましては、現在、処理場に設置してあるキュービクルの老朽化及び塩害等により腐食が進んできたため、取替えを行うものです。その他、各ポンプ場、ポンプ取替えについてですが、それぞれ経年劣化による機能低下、絶縁不良による交換となります。以上です。

○議長（福田忠由君）

説明を終わります。お諮りします。本日の会議時間を延長したいと思いますこれにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

異議なしと認めます。従って本日の会議時間を延長することは可決されました。質疑を行

います。1番、漁野君。

○1番（漁野尚登君）

これもびっくりしたんですけど、キャッシュフローの当年度純損失が2,434万1,280円ということで、これの説明をお願いします。それと、16ページの下水道使用料、これが49万7,000円の増ということで、去年は110円かける17万1,000立米かける1.10消費税で2,069万1,000円だったんですけども、この計算式は、これを使ったのかどうかですね、こういう110円で1.10、立米が幾ら、ちょっと増えとるんで、この辺の説明をお願いします。これ、長期前受金戻入というんですか、これはどういうあれなんかなと思って、お金なんかなと思って。その下の防災安全交付金430万円の説明もお願いします。後は説明してくれて、ポンプですね、21ページの、常渡ポンプと新屋敷ポンプと、三軒家ポンプというのはどこにあるのか、説明をお願いします。

○議長（福田忠由君）

奥田産業建設課副主幹。

○産業建設課副主幹（奥田耕司君）

まず、下水道使用料のほうですが、計算式は例年どおりのものを使用し、今年度は17万4,700立米をかけて計算しております。8ページ、キャッシュフローのマイナスの件ですが、まず、これは減価償却費がまず3,078万4,000円の費用計上と、長期前受金戻入1,105万円の収益計上を行ったことにより、これらは資金の収入支出を伴わないものの地方公営企業会計を適用する上では計上が必要というものということで計上したことです。そのために、キャッシュフローがマイナスになりまして、実際のところは、マイナス469万8,000円のマイナスとなっております。これにより、今年度700万円を補填して予算として成立させているものです。次に、長期前受金戻入とはということで、まず、これがまず管路とか設備の資産を補助金等で取得した場合、その資産の効果は後の後年度にも及ぶことから、長期前受金戻入とは、減価償却が取得経費を使用期間全体に費用を割り振る一方、その財源を収益化して割り振ることということです。長期前受金戻入は、あくまでも帳簿上の処理で、収益上実際の現金収入はありません。国庫補助金、防災安全交付金ですが、これは下水道台帳整備委託料の国庫補助金となっております。ポンプ場の位置ですが、まず常渡ポンプ場、これが太地のマンションの前にあるポンプ場になります。次に新屋敷ポンプ場は、東明寺の前にちょっと目立たないような感じのポンプ場があります。もう一つ、三軒家ポンプ場ですが、これ憩いの家のちょっと入ったところにある場所にあります。以上です。

○議長（福田忠由君）

脊古産業建設課副課長。

○産業建設課副課長（脊古 景君）

下水道使用料の増額について、ちょっと一点補足させていただきます。特別会計の時代、今回、地方公営企業法の一部適用なんですけども、3月末で打切決算と、特別会計は打切決算となりますので、まず料金について、まず5年度については11か月分で見込んで予算計上しております。期別をちょっと水道料金に合わせよう形になっております。3月使用料の分を4月調定として、2月使用料の3月調定までの12か月間とさせていただいておりますので、令和5年度と6年度を比較した場合に、6年度の方が若干、増額となっております。以上です。

○議長（福田忠由君）

ほかに質疑はありませんか。脊古産業建設課副課長。

○産業建設課副課長（脊古 景君）

すいません、21ページのところで最初の文字の訂正をお願いしたいと思います。三軒家ポンプ場のポンプ取替工事の三軒家の家が、屋内の屋、屋上の屋になってるんですけど、これを家、漢字が家になりますのでそちらのほうに訂正をお願いします。以上です。

○議長（福田忠由君）

休憩します。

休憩 午後4時55分

再開 午後4時55分

○議長（福田忠由君）

再開します。町長より、訂正の申出がありますので、それを許可いたします。脊古産業建設課副課長。

○産業建設課副課長（脊古 景君）

21ページの三軒家ポンプ場の家の漢字が、正しい文字が家となりますので、その訂正をお願いします。以上です。

○議長（福田忠由君）

先ほどの修正を許可することに異議ないですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

なければ、質疑を終わります。討論を行います。討論はありませんか。討論を終わります。これから、議案第30号、令和6年度企業会計太地町公共下水道事業会計予算を採決します。お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

異議なしと認めます。したがって、議案第30号、令和6年度企業会計太地町公共下水道事業会計予算は原案のとおり可決されました。

△日程第32 発議第1号

○議長（福田忠由君）

日程第32 発議第1号、議会改革特別委員会の設置についてを議題とします。事務局長に朗読させます。

（事務局長朗読）

○議長（福田忠由君）

お諮りします。本発議につきましては、議会改革に係るペーパーレス化について、議員定数の適正化についての調査研究、検討を行うことを目的に、全議員10人の委員で構成する議会改革特別委員会を設置しようとするものです。なお、本特別委員会は議会の閉会中も調査を行うことができるものとし、調査終了まで継続して調査を行うものいたします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（福田忠由君）

異議なしと認めます。したがって、発議第1号、議会改革特別委員会の設置については、全議員10人による議会改革特別委員会を設置し、議会の閉会中も調査を行うことができるものとし、調査終了まで継続して調査を行うものに決定いたしました。本日はこれで散会いたします。明日は午前9時より再開いたします。

散会 午後4時58分

太地町議会議長 福田 忠由

太地町議会議員 森岡 茂夫

太地町議会議員 海野 好詔